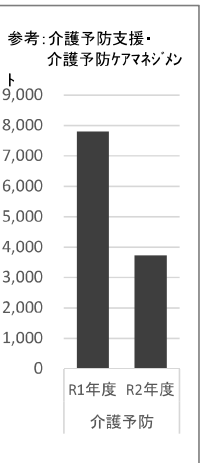
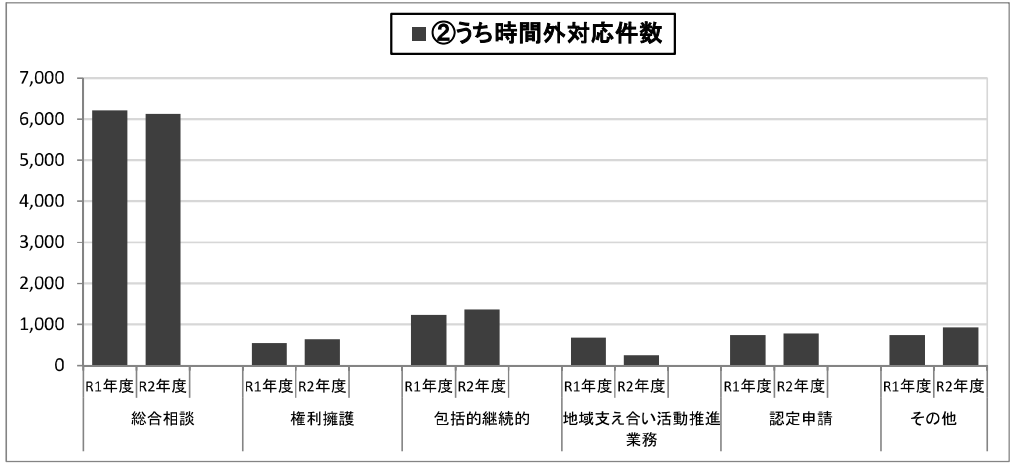
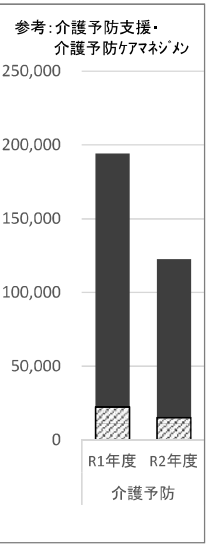
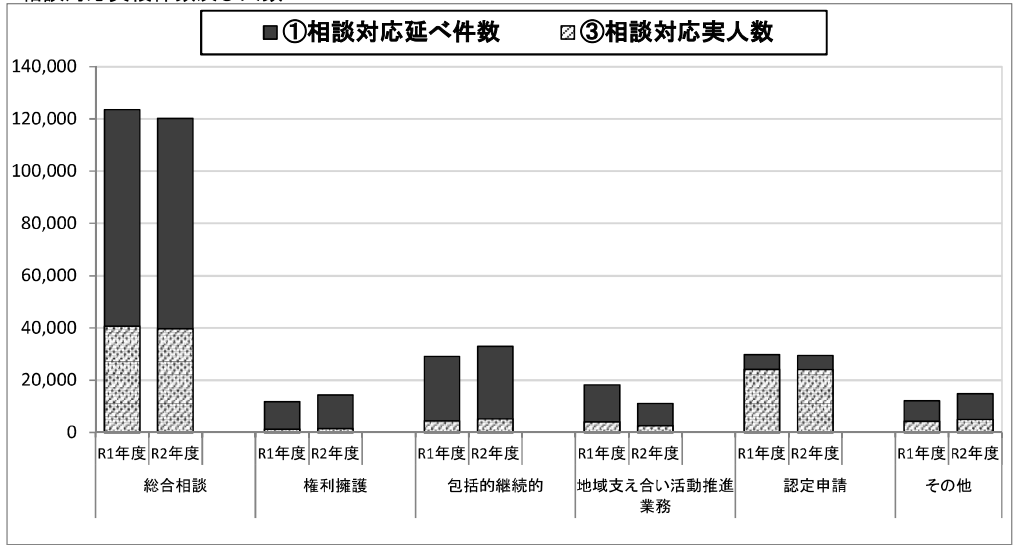


# 令和2年度 実績報告書(全市)

## 1. 相談対応実績件数及び人数



	総合相談支援						介護予防支援・介護予防ケアマネジメント	権利擁護				包括的・継続的ケアマネジメント		地域支え合い活動推進業務	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・退所相談	認知症に関する相談	実態把握	介護保険外サービス	基本チェックリスト		成年後見制度	措置	高齢者虐待	消費者被害	ケアマネジメント支援	困難事例対応				
電話	43,796	6,276	14,258	8,456	1,749	107	83,389	1,598	154	6,910	280	13,255	9,656	4,441	5,020	8,674	208,019
うち時間外対応	2,366	219	664	434	55	2	2,787	65	2	331	14	400	562	104	126	577	8,708
来所	11,084	1,094	2,480	866	671	231	4,160	220	10	503	19	1,613	872	795	8,363	1,274	34,255
うち時間外対応	768	93	210	46	34	11	147	7	2	28	0	50	76	14	319	102	1,907
訪問	9,885	754	3,953	8,055	1,096	698	30,118	598	35	1,691	80	2,010	3,158	3,553	14,489	2,384	82,557
うち時間外対応	467	24	165	308	31	23	638	14	0	93	3	56	107	45	306	76	2,356
その他	1,487	326	1,430	1,150	212	24	4,940	230	22	1,977	65	1,238	1,191	2,257	1,609	2,452	20,610
うち時間外対応	91	18	62	36	9	2	161	6	0	79	2	49	67	86	38	170	876
①相談対応延べ件数	66,252	8,450	22,121	18,527	3,728	1,060	122,607	2,646	221	11,081	444	18,116	14,877	11,046	29,481	14,784	345,441
前年度比	-6%	5%	15%	-11%	-3%	-6%	-37%	32%	8%	20%	9%	10%	18%	-39%	-1%	22%	-17%
1圏域あたり(件)	849	108	284	238	48	14	1,572	34	3	142	6	232	191	142	378	190	4,429
②うち時間外対応件数	3,692	354	1,101	824	129	38	3,733	92	4	531	19	555	812	249	789	925	13,847
前年度比	-1%	15%	20%	-15%	-43%	-24%	-52%	64%	-33%	13%	19%	-16%	41%	-63%	7%	24%	-23%
1圏域あたり(件)	47	5	14	11	2	0	48	1	0	7	0	7	10	3	10	12	178
③相談対応実人数	23,934	2,679	4,743	5,765	1,694	856	15,276	444	36	737	222	4,086	1,081	2,639	24,029	4,933	-
前年度比	-1%	7%	1%	-13%	-5%	-6%	-32%	14%	0%	13%	4%	22%	3%	-34%	-1%	14%	-
1圏域あたり(人)	307	34	61	74	22	11	196	6	0	9	3	52	14	34	308	63	-

※「うち時間外対応件数」とは、センターの開設時間外(休日、祝日を含む)に受付・対応した件数

2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがおの窓口	サービス事業者	介護保険制度全般	その他	合計
延件数	42	23	26	7	8	106
実人数	42	23	25	7	8	105

3. 広報啓発・緊急対応

実施内容		令和2年度	前年度比	1圏域あたり
広報・啓発	対象人数	238,365 件	0.9%	3,056.0 件
緊急対応件数(事故対応等)	件数	150 件	-8.0%	1.9 件

4. 介護予防ケアマネジメント

	モニタリング	前年度比	サービス担当者会議	前年度比
回数	225,607	9.9%	25,264	-8.1%

5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

実施内容		令和2年度	前年度比	1圏域あたり
地域ケア会議	開催数	145 件	-40.6%	1.9 件
	参加人数	2,235 人	-53.5%	28.7 人
	(内訳)協議体開催数	59 件	-47.3%	0.8 件
地域ケア会議打ち合わせ	開催数	199 件	-41.6%	2.6 件
	参加人数	709 人	-42.3%	9.1 人
自センター主催の会議等	開催数	363 件	-44.0%	4.7 件
	参加人数	3,383 人	-61.8%	43.4 人
小地域支え合い連絡会	開催数	459 件	-30.0%	5.9 件
	参加人数	4,972 人	-29.4%	63.7 人
行政等主催の会議等	開催数	2,558 件	-34.3%	32.8 件
	参加職員数	3,267 人	-37.0%	41.9 人
地域主催の会議等	開催数	2,234 件	-65.9%	28.6 件
	参加職員数	3,099 人	-67.2%	39.7 人
ケアマネ等研修会	開催数	120 件	-61.4%	1.5 件
	参加人数	858 人	-74.0%	11.0 人
介護リフレッシュ教室	開催数	293 件	-24.9%	3.8 件
	参加人数	1,960 人	-47.3%	25.1 人
運営推進会議	開催数	316 件	-74.4%	4.1 件
	参加職員数	343 人	-74.6%	4.4 人
研修	回数	1,191 件	-44.3%	15.3 件
	受講職員数	1,806 人	-46.9%	23.2 人
住民主体活動の後方支援	参加回数	608 件	-60.1%	7.8 件
	参加職員数	932 人	-60.6%	11.9 人
他機関との連絡調整	件数	77,813 件	14.1%	997.6 件

# 月別実績報告書 その1

(令和2年度 年間)

センター番号:	
センター名:	全市

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	43,796	6,276	14,258	8,456	1,749	107	83,389	1,598	154	6,910	280	13,255	9,656	4,441	5,020	8,674	208,019
うち時間外対応	2,366	219	664	434	55	2	2,787	65	2	331	14	400	562	104	126	577	8,708
来所	11,084	1,094	2,480	866	671	231	4,160	220	10	503	19	1,613	872	795	8,363	1,274	34,255
うち時間外対応	768	93	210	46	34	11	147	7	2	28	0	50	76	14	319	102	1,907
訪問	9,885	754	3,953	8,055	1,096	698	30,118	598	35	1,691	80	2,010	3,158	3,553	14,489	2,384	82,557
うち時間外対応	467	24	165	308	31	23	638	14	0	93	3	56	107	45	306	78	2,356
その他	1,487	326	1,430	1,150	212	24	4,940	230	22	1,977	65	1,238	1,191	2,257	1,609	2,452	20,610
うち時間外対応	91	18	62	36	9	2	161	6	0	79	2	49	67	86	38	170	876
合計	66,252	8,450	22,121	18,527	3,728	1,060	122,607	2,646	221	11,081	444	18,116	14,877	11,046	29,481	14,784	345,441
うち時間外対応	3,692	354	1,101	824	129	38	3,733	92	4	531	19	555	812	249	789	925	13,847
実人数	38,247	4,541	9,401	11,283	2,472	926	63,323	925	57	2,586	246	8,674	3,682	7,986	25,612	8,974	188,935
うち新規人数	23,934	2,679	4,743	5,765	1,694	856	15,276	444	36	737	222	4,086	1,081	2,639	24,029	4,933	93,154

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	42	23	26	7	8	106
実人数	42	23	25	7	8	105

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	35,282	対象人数	238,365
	(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	17,342	対象人数
緊急対応件数(事故対応等)	件数	150		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	6,330	144	6,186	1,864	30
簡易型	3,959	92	3,867	785	16	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	15,410	231	15,179	4,840	77
モニタリング	回数	225,607	サービス担当者会議		回数	25,264

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	145	参加人数	2,235
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	59		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	199	参加人数	709
自センター主催の会議等	会議数	363	参加人数	3,383
小地域支え合い連絡会	開催数	459	参加人数	4,972
行政等主催の会議等	会議数	2,558	参加職員数	3,267
地域主催の会議等	会議数	2,234	参加職員数	3,099
ケアマネ等研修会	開催数	120	参加人数	858
介護リフレッシュ教室	開催数	293	参加人数	1,960
運営推進会議	開催数	316	参加職員数	343
研修	回数	1,191	受講職員数	1,806
住民主体活動の後方支援	参加回数	608	参加職員数	932
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	77,813		
(内数)ケース検討会	開催数	1,990		

# 月別実績報告書 その1

(令和2年度 年間)

センター番号:	04
センター名:	兵庫区

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	4,757	447	1,197	908	179	23	6,786	297	18	672	21	1,715	1,153	685	709	527	20,094
うち時間外対応	131	20	45	38	1	0	89	0	0	1	0	34	19	21	5	30	434
来所	1,280	92	331	187	88	35	521	37	2	36	1	154	118	144	1,002	81	4,109
うち時間外対応	55	11	29	13	7	0	9	0	0	0	0	3	8	1	7	10	153
訪問	1,513	76	410	1,095	182	58	3,151	108	10	122	3	277	480	753	1,086	364	9,668
うち時間外対応	29	2	6	14	3	0	45	0	0	2	1	5	13	12	8	13	153
その他	150	23	83	389	13	3	319	15	4	55	2	84	92	287	186	117	1,822
うち時間外対応	3	2	2	2	0	0	7	0	0	0	0	3	2	36	1	3	61
合計	7,700	638	2,021	2,579	442	119	10,777	457	34	885	27	2,230	1,843	1,869	2,983	1,089	35,693
うち時間外対応	218	35	82	67	11	0	150	0	0	3	1	45	42	70	21	56	801
実人数	3,871	335	976	1,773	259	90	6,065	118	9	191	13	1,082	503	1,060	2,379	593	19,317
うち新規人数	2,613	229	508	898	166	77	1,204	52	4	56	11	696	146	258	2,249	270	9,437

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	4	0	0	0	0	4
実人数	4	0	0	0	0	4

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	5,401	対象人数	17,523
(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	2,584	対象人数	12,348
緊急対応件数(事故対応等)	件数	18		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	574	8	566	249	1
簡易型	256	2	254	72	0	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	1,440	12	1,428	673	5
モニタリング	回数	17,861	サービス担当者会議		回数	1,820

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

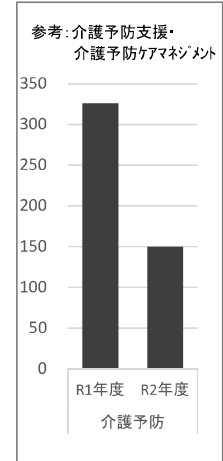
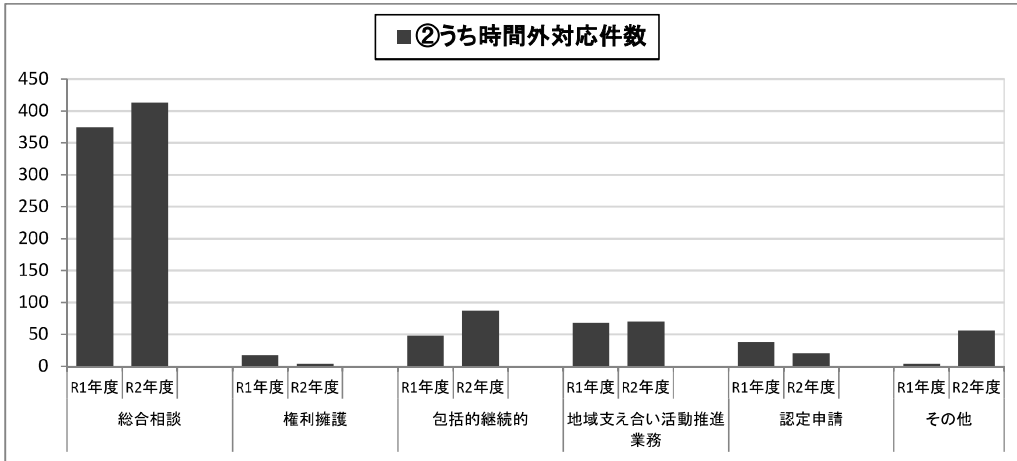
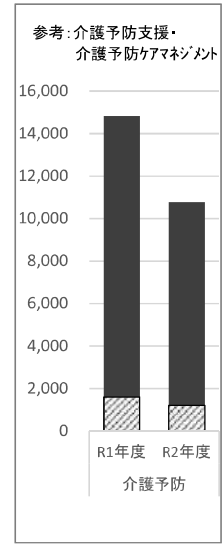
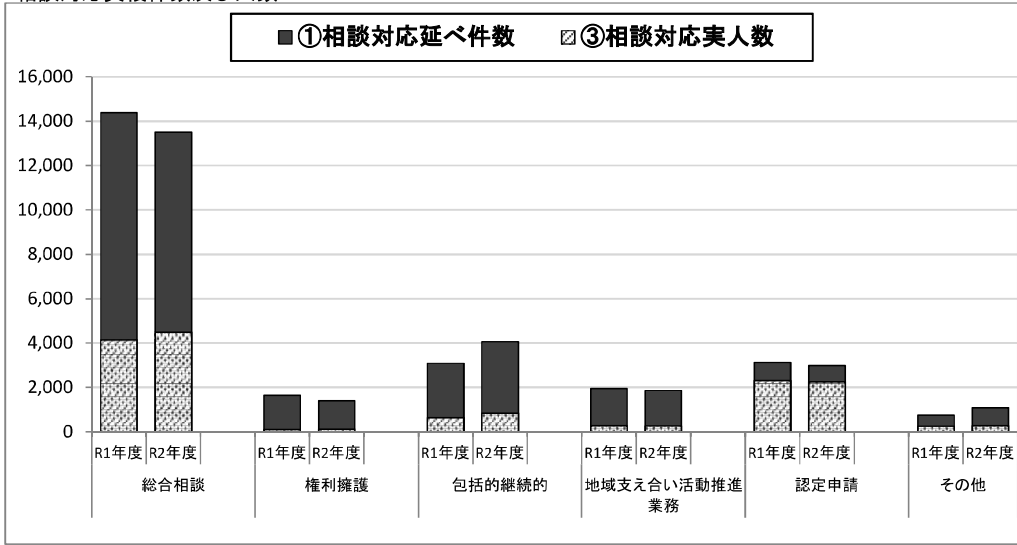
## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	12	参加人数	157
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	4		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	22	参加人数	52
自センター主催の会議等	会議数	30	参加人数	246
小地域支え合い連絡会	開催数	29	参加人数	408
行政等主催の会議等	会議数	188	参加職員数	213
地域主催の会議等	会議数	196	参加職員数	212
ケアマネ等研修会	開催数	5	参加人数	70
介護リフレッシュ教室	開催数	37	参加人数	261
運営推進会議	開催数	21	参加職員数	23
研修	回数	102	受講職員数	129
住民主体活動の後方支援	参加回数	143	参加職員数	212
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	10,033		
(内数)ケース検討会	開催数	120		



# 令和2年度 実績報告書(兵庫区)

## 1. 相談対応実績件数及び人数



	総合相談支援						介護予防支援・介護予防ケアマネジメント	権利擁護				包括的・継続的ケアマネジメント		地域支え合い活動推進業務	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・退所相談	認知症に関する相談	実態把握	介護保険外サービス	基本チェックリスト		成年後見制度	措置	高齢者虐待	消費者被害	ケアマネジメント支援	困難事例対応				
電話	4,757	447	1,197	908	179	23	6,786	297	18	672	21	1,715	1,153	685	709	527	20,094
うち時間外対応	131	20	45	38	1	0	89	0	0	1	0	34	19	21	5	30	434
来所	1,280	92	331	187	88	35	521	37	2	36	1	154	118	144	1,002	81	4,109
うち時間外対応	55	11	29	13	7	0	9	0	0	0	0	3	8	1	7	10	153
訪問	1,513	76	410	1,095	162	58	3,151	108	10	122	3	277	480	753	1,086	364	9,668
うち時間外対応	29	2	6	14	3	0	45	0	0	2	1	5	13	12	8	13	153
その他	150	23	83	389	13	3	319	15	4	55	2	84	92	287	186	117	1,822
うち時間外対応	3	2	2	2	0	0	7	0	0	0	0	3	2	36	1	3	61
①相談対応延べ件数	7,700	638	2,021	2,579	442	119	10,777	457	34	885	27	2,230	1,843	1,869	2,983	1,089	35,693
前年度比	16%	-15%	-4%	-42%	21%	7%	-27%	31%	1600%	-31%	50%	41%	23%	-4%	-5%	46%	-10%
1圏域あたり(件)	963	80	253	322	55	15	1,347	57	4	111	3	279	230	234	373	136	4,462
②うち時間外対応件数	218	35	82	67	11	0	150	0	0	3	1	45	42	70	21	56	801
前年度比	17%	150%	110%	-38%	-45%	-100%	-54%	-100%	-	-80%	-	88%	75%	3%	-45%	1300%	-8%
1圏域あたり(件)	27	4	10	8	1	0	19	0	0	0	0	6	5	9	3	7	100
③相談対応実人数	2,613	229	508	898	166	77	1,204	52	4	56	11	696	146	258	2,249	270	-
前年度比	16%	5%	2%	-3%	-16%	17%	-25%	24%	-	30%	-31%	38%	14%	-7%	-2%	7%	-
1圏域あたり(人)	327	29	64	112	21	10	151	7	1	7	1	87	18	32	281	34	-

※「うち時間外対応件数」とは、センターの開設時間外(休日、祝日を含む)に受付・対応した件数

2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがおの窓口	サービス事業者	介護保険制度全般	その他	合計
延件数	4	0	0	0	0	4
実人数	4	0	0	0	0	4

3. 広報啓発・緊急対応

実施内容		令和2年度	前年度比	1圏域あたり
広報・啓発	対象人数	17,523 件	-25.0%	2,190.4 件
緊急対応件数(事故対応等)	件数	18 件	28.6%	2.3 件

4. 介護予防ケアマネジメント

	モニタリング	前年度比	サービス担当者会議	前年度比
回数	17,861	27.4%	1,820	3.9%

5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

実施内容		令和2年度	前年度比	1圏域あたり
地域ケア会議	開催数	12 件	-42.9%	1.5 件
	参加人数	157 人	-61.2%	19.6 人
	(内訳)協議体開催数	4 件	-60.0%	0.5 件
地域ケア会議打ち合わせ	開催数	22 件	-55.1%	2.8 件
	参加人数	52 人	-40.9%	6.5 人
自センター主催の会議等	開催数	30 件	-40.0%	3.8 件
	参加人数	246 人	-66.8%	30.8 人
小地域支え合い連絡会	開催数	29 件	-37.0%	3.6 件
	参加人数	408 人	-27.4%	51.0 人
行政等主催の会議等	開催数	188 件	-32.6%	23.5 件
	参加職員数	213 人	-35.1%	26.6 人
地域主催の会議等	開催数	196 件	-32.2%	24.5 件
	参加職員数	212 人	-39.8%	26.5 人
ケアマネ等研修会	開催数	5 件	-73.7%	0.6 件
	参加人数	70 人	-75.6%	8.8 人
介護リフレッシュ教室	開催数	37 件	-26.0%	4.6 件
	参加人数	261 人	-48.0%	32.6 人
運営推進会議	開催数	21 件	-77.7%	2.6 件
	参加職員数	23 人	-78.5%	2.9 人
研修	回数	102 件	-49.5%	12.8 件
	受講職員数	129 人	-49.2%	16.1 人
住民主体活動の後方支援	参加回数	143 件	-	17.9 件
	参加職員数	212 人	-	26.5 人
他機関との連絡調整	件数	10,033 件	21.2%	1254.1 件

# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	26
センター名:	兵庫平野あんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	50	1	5	14	0	0	234	4	0	69	0	16	72	17	0	22	504
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来所	75	2	7	1	3	2	69	2	0	2	0	7	6	14	89	3	282
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	53	2	5	39	5	1	225	4	0	17	0	18	39	13	90	85	596
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	0	2	0	0	1	72	0	0	9	1	3	12	35	24	4	167
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	182	5	19	54	8	4	600	10	0	97	1	44	129	79	203	114	1,549
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実人数	155	5	17	40	8	4	327	6	0	12	1	34	34	63	203	33	942
うち新規人数	117	2	9	27	8	4	86	3	0	3	1	14	11	0	194	22	501

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	1	0	0	0	0	1
実人数	1	0	0	0	0	1

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	604	対象人数	1,261
	(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	0	対象人数
緊急対応件数(事故対応等)	件数	6		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	51	2	49	12	0
簡易型	21	0	21	3	0	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	115	1	114	27	1
モニタリング	回数	2,024	サービス担当者会議		回数	206

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	2	参加人数	28
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	0		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	6	参加人数	15
自センター主催の会議等	会議数	3	参加人数	16
小地域支え合い連絡会	開催数	11	参加人数	174
行政等主催の会議等	会議数	26	参加職員数	31
地域主催の会議等	会議数	3	参加職員数	4
ケアマネ等研修会	開催数	1	参加人数	3
介護リフレッシュ教室	開催数	5	参加人数	54
運営推進会議	開催数	0	参加職員数	0
研修	回数	11	受講職員数	15
住民主体活動の後方支援	参加回数	26	参加職員数	37
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	1,024		
(内数)ケース検討会	開催数	3		

# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	27
センター名:	みなとがわあんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	195	10	14	106	1	8	58	6	0	2	1	139	27	112	14	64	757
うち時間外対応	13	2	3	5	0	0	4	0	0	0	0	11	2	8	1	14	63
来所	174	4	35	37	1	3	13	2	0	0	0	17	6	47	88	34	461
うち時間外対応	17	0	6	5	0	0	3	0	0	0	0	2	1	1	7	8	50
訪問	71	5	17	286	1	4	26	11	2	10	1	30	24	118	100	32	738
うち時間外対応	5	0	1	6	0	0	1	0	0	0	1	1	2	0	4	2	23
その他	16	8	3	6	0	1	3	2	2	9	0	13	7	11	13	8	102
うち時間外対応	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	9
合計	456	27	69	435	3	16	100	21	4	21	2	199	64	288	215	138	2,058
うち時間外対応	38	4	10	16	0	0	8	0	0	0	1	17	5	9	12	25	145
実人数	336	12	40	329	3	13	88	7	2	13	1	130	34	148	198	98	1,452
うち新規人数	241	10	26	169	3	5	70	5	1	11	1	79	15	75	182	69	962

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	0	0	0	0	0	0
実人数	0	0	0	0	0	0

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	1,945	対象人数	1,945
(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	0	対象人数	0
緊急対応件数(事故対応等)	件数	1		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	56	0	56	31	0
簡易型	29	0	29	12	0	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	139	0	139	67	0
モニタリング	回数	1,808	サービス担当者会議		回数	142

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	1	参加人数	16
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	0		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	0	参加人数	0
自センター主催の会議等	会議数	2	参加人数	31
小地域支え合い連絡会	開催数	2	参加人数	15
行政等主催の会議等	会議数	19	参加職員数	20
地域主催の会議等	会議数	3	参加職員数	4
ケアマネ等研修会	開催数	0	参加人数	0
介護リフレッシュ教室	開催数	7	参加人数	27
運営推進会議	開催数	14	参加職員数	16
研修	回数	27	受講職員数	35
住民主体活動の後方支援	参加回数	14	参加職員数	23
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	747		
(内数)ケース検討会	開催数	1		

# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	28
センター名:	荒田あんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	110	1	29	56	6	0	361	6	0	20	0	56	54	16	69	9	793
うち時間外対応	0	0	1	0	0	0	16	0	0	0	0	1	0	0	0	1	19
来所	68	2	12	13	4	1	50	1	0	2	0	10	5	5	112	5	290
うち時間外対応	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
訪問	43	2	23	119	19	6	363	15	0	22	0	35	36	64	135	109	991
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
その他	14	0	4	7	2	0	11	7	0	15	0	16	12	2	5	8	103
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	235	5	68	195	31	7	785	29	0	59	0	117	107	87	321	131	2,177
うち時間外対応	1	0	1	1	0	0	21	0	0	0	0	1	1	0	0	1	27
実人数	181	4	43	126	24	6	533	23	0	28	0	62	36	74	256	91	1,487
うち新規人数	167	4	28	74	17	5	223	12	0	6	0	30	2	29	241	36	874

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	0	0	0	0	0	0
実人数	0	0	0	0	0	0

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	50	対象人数	1,437
(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	33	対象人数	1,221
緊急対応件数(事故対応等)	件数	4		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	77	2	75	53	0
簡易型	15	1	14	10	0	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	228	0	228	132	0
モニタリング	回数	1,461	サービス担当者会議		回数	182

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	2	参加人数	31
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	1		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	1	参加人数	3
自センター主催の会議等	会議数	1	参加人数	11
小地域支え合い連絡会	開催数	4	参加人数	38
行政等主催の会議等	会議数	23	参加職員数	25
地域主催の会議等	会議数	24	参加職員数	28
ケアマネ等研修会	開催数	1	参加人数	10
介護リフレッシュ教室	開催数	4	参加人数	33
運営推進会議	開催数	3	参加職員数	3
研修	回数	13	受講職員数	19
住民主体活動の後方支援	参加回数	10	参加職員数	11
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	558		
(内数)ケース検討会	開催数	31		

# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	29
センター名:	新開地あんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	535	93	329	253	8	0	243	105	0	171	0	303	314	106	181	84	2,725
うち時間外対応	20	0	9	12	0	0	8	0	0	0	0	6	5	0	2	3	65
来所	127	6	49	39	12	6	22	4	0	9	0	22	22	9	102	16	445
うち時間外対応	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
訪問	67	2	50	171	13	9	88	10	0	10	0	17	32	205	122	25	821
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	5
その他	11	1	13	321	2	0	5	4	0	9	0	14	17	66	29	12	504
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	740	102	441	784	35	15	358	123	0	199	0	356	385	386	434	137	4,495
うち時間外対応	21	0	10	12	0	0	10	0	0	2	0	7	6	0	2	3	73
実人数	463	60	198	627	25	13	207	29	0	33	0	94	103	246	296	94	2,488
うち新規人数	294	46	62	237	15	13	75	12	0	7	0	35	30	46	290	28	1,190

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	0	0	0	0	0	0
実人数	0	0	0	0	0	0

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	953	対象人数	1,062
	(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	881	対象人数
緊急対応件数(事故対応等)	件数	0		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	78	0	78	25	0
簡易型	41	0	41	4	0	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	178	1	177	80	1
モニタリング	回数	3,747	サービス担当者会議		回数	293

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	2	参加人数	16
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	2		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	9	参加人数	9
自センター主催の会議等	会議数	5	参加人数	55
小地域支え合い連絡会	開催数	2	参加人数	21
行政等主催の会議等	会議数	24	参加職員数	27
地域主催の会議等	会議数	7	参加職員数	7
ケアマネ等研修会	開催数	0	参加人数	0
介護リフレッシュ教室	開催数	3	参加人数	29
運営推進会議	開催数	0	参加職員数	0
研修	回数	10	受講職員数	14
住民主体活動の後方支援	参加回数	8	参加職員数	10
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	3,681		
(内数)ケース検討会	開催数	33		

# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	30
センター名:	夢野の丘あんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	1,855	136	312	165	18	4	176	9	0	10	0	113	108	42	38	210	3,196
うち時間外対応	46	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	54
来所	198	18	50	27	6	0	1	0	0	1	0	11	1	22	92	3	430
うち時間外対応	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
訪問	648	45	164	245	14	19	81	4	0	1	0	19	71	9	178	34	1,532
うち時間外対応	6	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	13
その他	69	7	47	32	1	1	5	0	0	1	1	0	9	24	18	55	270
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,770	206	573	469	39	24	263	13	0	13	1	143	189	97	326	302	5,428
うち時間外対応	55	1	4	5	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	0	71
実人数	903	95	227	231	18	21	115	4	0	5	1	72	73	62	284	144	2,255
うち新規人数	450	53	88	84	18	17	45	1	0	2	1	38	25	7	267	26	1,122

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	1	0	0	0	0	1
実人数	1	0	0	0	0	1

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	33	対象人数	5,874
(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	31	対象人数	5,637
緊急対応件数(事故対応等)	件数	3		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	107	3	104	35	0
簡易型	29	0	29	10	0	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	147	4	143	65	0
モニタリング	回数	2,356	サービス担当者会議		回数	267

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	1	参加人数	7
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	0		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	3	参加人数	13
自センター主催の会議等	会議数	0	参加人数	0
小地域支え合い連絡会	開催数	1	参加人数	4
行政等主催の会議等	会議数	14	参加職員数	14
地域主催の会議等	会議数	6	参加職員数	16
ケアマネ等研修会	開催数	1	参加人数	30
介護リフレッシュ教室	開催数	6	参加人数	32
運営推進会議	開催数	0	参加職員数	0
研修	回数	11	受講職員数	13
住民主体活動の後方支援	参加回数	20	参加職員数	20
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	487		
(内数)ケース検討会	開催数	0		

# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	31
センター名:	中道あんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	1,040	118	256	97	55	7	2,035	150	10	309	7	573	295	53	305	6	5,316
うち時間外対応	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
来所	212	13	54	6	19	6	121	23	2	18	0	48	7	17	261	0	807
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	378	10	75	71	44	6	476	56	5	45	1	92	123	37	173	2	1,594
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	2	4	0	4	0	0	0	0	8	1	0	6	0	28
うち時間外対応	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	1,630	143	386	176	122	19	2,636	229	17	372	8	721	426	107	745	8	7,745
うち時間外対応	0	0	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
実人数	689	46	158	66	56	9	1,208	36	2	54	2	300	90	62	471	3	3,252
うち新規人数	469	37	111	60	47	9	239	14	1	14	2	232	27	51	461	3	1,777

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	0	0	0	0	0	0
実人数	0	0	0	0	0	0

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	1,420	対象人数	2,247
(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	1,404	対象人数	1,521
緊急対応件数(事故対応等)	件数	1		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
総合事業のサービスのみ	従来型	89	0	89	58	0
	簡易型	62	0	62	26	0
	セルフ型	0	0	0		
予防給付	介護予防支援	271	0	271	156	0
モニタリング	回数	2,042	サービス担当者会議		回数	225

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	0	参加人数	0
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	0		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	0	参加人数	0
自センター主催の会議等	会議数	5	参加人数	24
小地域支え合い連絡会	開催数	0	参加人数	0
行政等主催の会議等	会議数	29	参加職員数	42
地域主催の会議等	会議数	7	参加職員数	7
ケアマネ等研修会	開催数	0	参加人数	0
介護リフレッシュ教室	開催数	4	参加人数	22
運営推進会議	開催数	0	参加職員数	0
研修	回数	10	受講職員数	10
住民主体活動の後方支援	参加回数	3	参加職員数	9
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	2,786		
(内数)ケース検討会	開催数	12		



# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	32
センター名:	キャナルタウンあんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	451	20	154	10	16	4	1,759	10	0	50	4	261	248	90	93	130	3,300
うち時間外対応	18	1	5	1	0	0	34	0	0	1	0	7	12	13	2	12	106
来所	235	17	61	0	16	17	99	2	0	1	0	27	65	11	123	15	689
うち時間外対応	6	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	1	6	0	0	2	21
訪問	139	2	55	71	20	11	1,301	6	0	10	0	59	142	87	159	73	2,135
うち時間外対応	8	0	1	4	0	0	36	0	0	0	0	1	9	12	3	11	85
その他	25	1	11	3	0	0	54	2	0	8	0	23	26	148	42	30	373
うち時間外対応	0	0	2	0	0	0	6	0	0	0	0	0	2	36	1	2	49
合計	850	40	281	84	52	32	3,213	20	0	69	4	370	481	336	417	248	6,497
うち時間外対応	32	1	10	5	0	0	80	0	0	1	0	9	29	61	6	27	261
実人数	588	29	160	65	29	22	2,495	8	0	31	3	182	102	228	363	122	4,427
うち新規人数	496	23	113	56	21	22	276	4	0	10	3	93	23	29	355	81	1,605

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	2	0	0	0	0	2
実人数	2	0	0	0	0	2

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	340	対象人数	990
(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	179	対象人数	281
緊急対応件数(事故対応等)	件数	0		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

総合事業のサービスのみ	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
	従来型	70	1	69	22	1
簡易型	38	1	37	3	0	
セルフ型	0	0	0			
予防給付	介護予防支援	183	3	180	66	1
モニタリング	回数	2,353	サービス担当者会議		回数	287

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	2	参加人数	31
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	0		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	1	参加人数	2
自センター主催の会議等	会議数	9	参加人数	44
小地域支え合い連絡会	開催数	4	参加人数	48
行政等主催の会議等	会議数	24	参加職員数	24
地域主催の会議等	会議数	7	参加職員数	7
ケアマネ等研修会	開催数	1	参加人数	4
介護リフレッシュ教室	開催数	4	参加人数	20
運営推進会議	開催数	0	参加職員数	0
研修	回数	13	受講職員数	16
住民主体活動の後方支援	参加回数	33	参加職員数	39
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	366		
(内数)ケース検討会	開催数	32		

# 月別実績報告書 その1

(2020年度年間)

センター番号:	33
センター名:	浜山あんしんすこやかセンター

## 1. 相談対応実績件数及び人数（新規を含む）

	総合相談支援						介護予防支援 介護予防ケア マネジメント	権利擁護				包括的・継続的 ケアマネジメント	困難事例 対応	地域 支え合い 活動	認定申請	その他	合計
	介護相談	入所・ 退所相談	認知症に 関する相談	実態把握	介護保険 外サービス	基本 チェックリスト		成年 後見制度	措置	高齢者 虐待	消費者 被害						
電話	521	68	98	207	75	0	1,920	7	8	41	9	254	35	249	9	2	3,503
うち時間外対応	34	17	20	17	1	0	27	0	0	0	0	7	0	0	0	0	123
来所	191	30	63	64	27	0	146	3	0	3	1	12	6	19	135	5	705
うち時間外対応	27	11	20	7	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73
訪問	114	8	21	93	46	2	591	2	3	7	1	7	13	220	129	4	1,261
うち時間外対応	10	1	3	2	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
その他	11	4	2	18	4	0	165	0	2	4	0	7	8	1	49	0	275
うち時間外対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	837	110	184	382	152	2	2,822	12	13	55	11	280	62	489	322	11	5,744
うち時間外対応	71	29	43	26	11	0	30	0	0	0	0	7	0	0	0	0	217
実人数	556	84	133	289	96	2	1,092	5	5	15	5	208	31	177	308	8	3,014
うち新規人数	379	54	71	191	37	2	190	1	2	3	3	175	13	21	259	5	1,406

## 2. 苦情件数(再掲)

	センター	えがお の窓口	サービス事 業者	介護保険 制度全般	その他	合計
延件数	0	0	0	0	0	0
実人数	0	0	0	0	0	0

## 3. 広報啓発・緊急対応

広報・啓発	回数	56	対象人数	2,707
(内数)介護予防普及啓 発に該当するもの	回数	56	対象人数	2,707
緊急対応件数(事故対応等)	件数	3		

## 4. 介護予防ケアマネジメント

	類型	管理数	うち新規数	うち継続数	うち委託数	委託数のうち 新規数
総合事業のサービスのみ	従来型	46	0	46	13	0
	簡易型	21	0	21	4	0
	セルフ型	0	0	0		
予防給付	介護予防支援	179	3	176	80	2
モニタリング	回数	2,070	サービス担当者会議		回数	218

セルは合計数ではなく、当該年度の3月の数値が入っています。

## 5. 地域支え合い活動推進事業・会議等

地域ケア会議	開催数	2	参加人数	28
(内数)協議体機能を有するもの	開催数	1		
地域ケア会議の打ち合わせ	回数	2	参加人数	10
自センター主催の会議等	会議数	5	参加人数	65
小地域支え合い連絡会	開催数	5	参加人数	108
行政等主催の会議等	会議数	29	参加職員数	30
地域主催の会議等	会議数	139	参加職員数	139
ケアマネ等研修会	開催数	1	参加人数	23
介護リフレッシュ教室	開催数	4	参加人数	44
運営推進会議	開催数	4	参加職員数	4
研修	回数	7	受講職員数	7
住民主体活動の後方支援	参加回数	29	参加職員数	63
個別ケース対応に関する他機関との連絡調整	件数	384		
(内数)ケース検討会	開催数	8		

■ あんしんすこやかセンター圏域における地域ケア会議の開催状況（令和2年度）

圏域	開催日	テーマ	カテゴリー	参加人数	開催形式
兵庫平野	8月20日	個別事例を通じて認知症をもちながら独居生活を継続するために課題を検討する	認知症、見守り、資源づくり	10	個別ケア会議
兵庫平野	10月29日	コロナ禍におけるつどいの場の運営について	認知症、見守り、資源づくり、介護予防	23	地域ケア推進会議
みなとがわ	11月30日	認知症の方が今後も在宅生活を続けるために	認知症、見守り	16	個別ケア会議
みなとがわ	3月6日	住民の方と専門職で認知症の方が済み続けることができるまちづくりについて考える	認知症、資源づくり	中止 コロナ	地域ケア推進会議
荒田	7月16日	独居高齢者で認知症のある方が地域で暮らしていけるための支援方法を考える	認知症、見守り、生活支援、ケアマネ支援	17	個別ケア会議
荒田	12月17日	まち全体で高齢者の見守りをしよう。まずは地域のニーズを共有しよう。	認知症、見守り、資源づくり	17	地域ケア推進会議
新開地	7月21日	公団に住む高齢者が困ったときにすぐに相談できるネットワーク体制の構築について考える	認知症、見守り、資源づくり、介護予防	16	個別ケア会議
新開地	10月14日	コロナ禍の地域における高齢者の交流の持ち方について、現所や課題・今後の展望を共有する	見守り、資源づくり、介護予防	10	地域ケア推進会議
夢野の丘	8月22日	一人暮らしで認知症があり、身の回りのことが自分でできなくなっている方と地域と協働で支える。	認知症、見守り、生活支援、ケアマネ支援	7	個別ケア会議
夢野の丘	1月15日	地域と地域事業者との連携を深め、お互いが交流する機会や場を作ることで今後の地域支援につなげる	認知症、資源づくり	中止 コロナ	地域ケア推進会議
キャナルタウン	10月14日	高齢者の多剤併用の課題共有とコロナ禍でできるその対策 コロナ禍で過ごす高齢者の現状と課題について	見守り、資源づくり	14	地域ケア推進会議
キャナルタウン	1月25日 (コロナで延期) →3月23日	架空事例を通じて妄想で苦しんでいる方の世界を知りその関わり方を学ぶ	認知症、見守り	17	地域ケア推進会議

圏域	開催日	テーマ	カテゴリー	参加人数	開催形式
浜山	6月17日	「いきいき百歳体操」地域での主導運営に向けて	見守り、資源づくり、 介護予防	13	地域ケア推進会議
浜山	9月23日	市営住宅における孤独死をなくすために	見守り、資源づくり	19	個別ケア会議
中道	3月24日	認知症で俳諧のある方の事例を振り返り、地域でできることや連携を考える	認知症、見守り	中止 コロナ	個別ケア会議

※1 個別会議（地域ケア個別会議）

あんしんすこやかセンター主催により、個別ケースの関係者が参加して個人の課題への対応を検討する会議。

個別ケースの検討以外に、地域づくりや資源開発にむけた実務者会、小単位での地域課題を抽出するための小地域連絡会として開催される場合などもある。

個別会議を通じて挙げられた地域課題は、改めて地域ケア推進会議などに展開していく。

## 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取扱いについて

圏域内の介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合に、地域包括支援センターから指定居宅介護支援事業者への引き継ぎ方法について、次のとおりとする。

### 【対象者】

地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメントを行っていた事業対象者や要支援者（サービス利用していない人も含む）

### 【指定居宅介護支援事業者の選定について】

1. 選定にあたっては利用者の希望する指定居宅介護支援事業者を優先する。
2. 利用者の希望する事業者がない場合は、地域包括支援センターより指定居宅介護支援事業者リスト（区内）を提示し、利用者が選択する。
3. 「指定居宅介護支援事業者の選定における確認書（別紙）」に利用者が署名する。

### 【利用者が確認書を記入しない場合】

利用者が確認書を記入しない場合は、その理由を支援経過記録用紙に明記する。

《平成19年3月22日市運営協議会決定》

《平成29年2月9日市運営協議会改訂》

〇〇〇

あんしんすこやかセンター運営管理者様

## 指定居宅介護支援事業者等の選定における確認書

私は、私のケアプラン（居宅サービス計画）の作成依頼先として、

（ ）

を私の意思で選択したことに相違ありません。

※どちらか該当する方に○印を入れてください。

1. 私の意思で上記の事業者を希望しました。
2. 特に希望する事業者がなかった為、あんしんすこやかセンターの職員から適切に「えがおの窓口一覧表（区内）」の提示を受けて選択しました。

年 月 日

本人氏名

代筆者

（本人との続柄 ）

\* 地域包括支援センターは、利用者が要介護状態となった場合において、神戸市地域包括支援センター運営協議会の審議決定事項に基づき、公正中立に指定居宅介護支援事業者等を利用者に選んでいただくことが義務付けられています。

介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態になったときの確認書の使用状況

兵庫県

(R2年度)

センター名	要介護 になった 人数(A)	事業者 未決定 人数(死 亡等) (B)	確認書 必要人 数(C)= (A)-(B)	確認書あり					確認書なし						
				件数 (D)=(E)+(F)	本人希望による 事業者決定(E)		一覧表提示によ る事業者決定(F)		件数 (G)=(H)+(I)+(J)+(K)		本人 拒否 (H)	本人 死亡 (I)	入院 中 (J)	その 他 (K)	その他の理由
					件数	割合	件数	割合	件数	割合					
兵庫平野	38	4	34	34	30	88%	4	12%	0	0%	0	0	0	0	
みなとがわ	46	11	35	35	24	69%	11	31%	0	0%	0	0	0	0	
荒田	71	11	60	60	48	80%	12	20%	0	0%	0	0	0	0	
新開地	44	2	42	42	37	88%	5	12%	0	0%	0	0	0	0	
夢野の丘	67	15	52	52	37	71%	15	29%	0	0%	0	0	0	0	
中道	75	9	66	66	63	95%	3	5%	0	0%	0	0	0	0	
キャナルタウン	62	12	50	50	33	66%	17	34%	0	0%	0	0	0	0	
浜山	42	7	35	35	32	91%	3	9%	0	0%	0	0	0	0	
合計	445	71	374	374	304	81%	70	19%	0	0%	0	0	0	0	

## (2) 特定事業所へのサービス集中率について —公正中立の判断基準作成のために—

「地域包括支援センターが作成する介護予防ケアプランの作成において正当な理由がなく、特定の事業者が提供するサービスに偏りが無いこと」の報告基準について次のとおりとする。

当分の間、当該地域包括支援センター（指定介護予防支援事業所）が作成した介護予防サービス計画（委託分も含む）のうち、介護予防訪問サービス、介護予防通所サービス、介護予防通所リハビリ、介護予防福祉用具貸与及び生活支援訪問サービスが提供されている介護予防サービス計画の数をそれぞれ集計し、それぞれのサービスについて、最もその紹介件数の多い事業所（以下「紹介率最高事業所」という）の介護予防サービス計画数の占める割合が50%を超えた地域包括支援センターに対し、区から事情を聴取し、区運営協議会への報告事項とする。

### 1. 判断基準の判定方法

地域包括支援センターごとに、次の計算式により計算し、①～⑤のそれぞれが50%を超えたとき、各区健康福祉課から当該地域包括支援センターへ事情を聴取し、当協議会に報告する。また、事情を聴取する上で、正当な理由についても検討していく。

- ① 介護予防訪問サービスにかかる紹介率最高事業所の介護予防サービス計画数  
÷ 介護予防訪問サービスを位置づけた計画数
- ② 介護予防通所サービスにかかる紹介率最高事業所の介護予防サービス計画数  
÷ 介護予防通所サービスを位置づけた計画数
- ③ 介護予防通所リハビリにかかる紹介率最高事業所の介護予防サービス計画数  
÷ 介護予防通所リハビリを位置づけた計画数
- ④ 介護予防福祉用具貸与にかかる紹介率最高事業所の介護予防サービス計画数  
÷ 介護予防福祉用具貸与を位置づけた計画数
- ⑤ 生活支援訪問サービスにかかる紹介率最高事業所の介護予防サービス計画数  
÷ 生活支援訪問サービスを位置づけた計画数

参考. サービスの偏りにかかる正当な理由の例

- ① サービスの質が高いことによる利用者の希望を勘案した場合
- ② 介護予防訪問サービス、介護予防通所サービス、介護予防通所リハビリ、介護予防福祉用具貸与及び生活支援訪問サービスが提供されている介護予防サービス計画の数が少ない場合（10件以下）
- ③ 当該圏域に5事業所未満である場合などサービス事業所が少数である場合
- ④ その他正当な理由がある場合

《平成19年3月22日市運営協議会決定》

《平成29年2月9日市運営協議会改定》



## 特定事業所へのサービス集中度

センター	サービス種別	集中度	区におけるヒアリング内容
浜山	生活支援訪問サービス	63% (15件/24件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者宅との利便性が良いため希望される</li> <li>・サービスの質が高いとの理由で希望される</li> </ul>
兵庫平野	介護予防通所リハビリ	63% (12件/19件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同法人の病院からの退院者で要介護から要支援になり引き続き利用を希望される。</li> </ul>
みなとがわ	介護予防通所リハビリ	63% (12件/19件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援でも専門の先生からマンツーマンで指導を受けられるため。</li> </ul>
荒田	介護予防通所リハビリ	50% (16件/32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同法人の病院で入院中にリハビリを受けていた方が退院後も医師の勧めで通所リハビリの利用を継続される。</li> <li>・体験利用後、本人の希望でサービスに繋がる。</li> <li>・短時間利用の希望あり。</li> </ul>

介護予防支援業務における特定事業所へのサービス集中度

《令和3年2月給付管理データにおけるケアプラン数11件以上で集中度50%を超えるものを調査》

サービス種別	センター 所在区	集中度	集中件 数	／	全体件 数	集中にかかる理由
介護予防訪問サービス	東灘	50%	43	／	86	利用者宅との地理的利便性、意思・知人からの紹介、センターの併設希望
生活支援訪問サービス	東灘	50%	14	／	28	サービスの質が高い、その他
	灘	58%	22	／	38	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、その他(改正前からの流れで介護予防サービスと生活支援サービスに分かれた時に同じ事業所を希望)、当該圏域内にサービス事業所が少数である
	中央	50%	8	／	16	その他(当該サービスを受けてくれる事業所を探しても見つからず、専門に受けてくれる当該事業所に依頼した。)
	兵庫	63%	15	／	24	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、生活支援訪問サービスを提供してくれる事業所がない
	北	58%	29	／	50	サービスの質が高い、その他(運営母体を信頼している)、対応できる事業所が少ないため
	北	50%	6	／	12	医師・知人からの紹介、生活支援サービス(簡易型)を受ける事業所が少ない
	垂水	59%	16	／	27	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、その他(以前にも当該事業所を利用した経験あり)
	垂水	55%	38	／	69	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介、その他、当該圏域内にサービス事業所が少数である
	垂水	50%	9	／	18	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、担当ケアマネからの紹介
	西	50%	13	／	26	サービスの質が高い、医師・知人からの紹介、当該圏域内にサービス事業所が少数である
介護予防通所サービス	中央	50%	21	／	42	利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介
	中央	58%	53	／	91	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介、その他(リハビリ特化型のデイが他にないため)
	西	55%	43	／	78	サービスの質が高い、医師・知人からの紹介、当該圏域内にサービス事業所が少数である
	西	51%	46	／	91	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介
介護予防通所リハビリ	東灘	51%	26	／	51	サービスの質が高い
	東灘	67%	8	／	12	利用者宅との地理的利便性
	中央	78%	53	／	68	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介、その他(供時間と量がちょうど良い)
	中央	61%	17	／	28	短時間利用で個別リハビリを集中的に行う事業所が他にないため
	兵庫	63%	12	／	19	利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介、入院中に併設の通所リハビリを勧められた
	兵庫	63%	12	／	19	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介
	兵庫	50%	16	／	32	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介
	北	77%	23	／	30	利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介
	北	82%	28	／	34	サービスの質が高い、医師・知人からの紹介、その他家族が利用しているため
	北	73%	54	／	74	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介、家族からの紹介
	長田	50%	6	／	12	サービスの質が高い、医師・知人からの紹介
	長田	68%	36	／	53	医師・知人からの紹介
	長田	59%	37	／	63	医師・知人からの紹介
	垂水	53%	8	／	15	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介、その他(雰囲気、職員の対応)
	垂水	54%	7	／	13	医師・知人からの紹介
西	53%	10	／	19	サービスの質が高い、利用者宅との地理的利便性、医師・知人からの紹介	

様式3 計画評価シート（目標・実施・評価）

あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（ 兵庫平野 ）あんしんすこやかセンター

<b>課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員、友愛訪問ボランティア、婦人会、自治会、老人会、地域住民ボランティアなどの社会資源はそれぞれ個々では活動的だが、地域ぐるみでの活動に繋がっていない。</li> <li>・ 世代間での交流の場が少なく、地域支援者（民生委員・友愛訪問ボランティア等）の若い担い手が極めて少ない。</li> <li>・ 市場が衰退し地域住民が出かけて交流を深める機会が少なくなっている。</li> </ul>

【長期目標】 認知症になっても、住み慣れたまちで暮らしていけるよう住民相互に地域に関心を持ち、見守りあえる。

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>・ 認知症高齢者等が多職種連携を図ることにより、安心して生活ができるようになる。</p>	<p>①認知症高齢者等声かけ模擬訓練                      実施時期 未定                      場所 平野圏域                      対象者 地域住民                      実施方法 地域支援者・つどい場メンバーの顔合わせ、事前訓練、模擬訓練当日と3段階に分け、企画段階から地域支援者・つどい場メンバーで話し合い、事前訓練では、認知症高齢者への理解を深め、声のかけ方を学ぶ。又、声かけ模擬訓練当日は、圏域を2手に分かれ、地域住民に広く声かけ模擬訓練を周知してもらい声かけを体験してもらう。</p> <p>②地域ケア会議（個別）                      実施時期 令和2年8月20日（木）14時～15時30分                      場所 平野地域福祉センター1階                      参加者 医師、地域支援者、ケアマネジャー、サービス事業所、行政                      実施方法 認知症をもつ独居高齢者について、個別事例を用いて検討する。各支援者からの情報を共有し現状の課題を確認し、今後の見守り方について検討する。さらに必要な仕組みについて話し合うことで認知症の高齢者の見守りネットワークの強化を図る。</p>	<p>① 認知症高齢者等声かけ模擬訓練                      新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方法や時期については検討中。</p> <p>②地域ケア会議（個別）                      令和2年8月20日（木）14時～15時30分                      平野地域福祉センター1階                      参加者：医師、民生委員、えがおの窓口、サービス事業所、区社会福祉協議会、区あんしんすこやか係                      数年前より季節に合わない服装をする、食事をとらない、清潔を保持できないなど、症状が進み、独居生活が不安定になるが本人からの訴えはなく、家の中の様子を把握が難しいため、現状の共有を行い、課題を整理したうえで、支援すべき課題の優先順位を①水分・食事の確保、②定期的な受診につなげる、と決めてもらう。また見守りの目を増やすための仕組みづくり（宅配牛乳をとる、自宅をつどい場にする）の提案があった。</p>	<p>①認知症高齢者等声かけ模擬訓練                      新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催は中止し、来年度に実施となる。</p> <p>②地域ケア会議（個別）                      認知症をもつ独居高齢者の見守り方について協議したことで、地域支援者と介護事業所、医療機関との連携をとれる体制づくりにつなげることができた。また、介護保険サービス以外の見守りの仕組みやつどい場の提案が出るなど個別事例の課題解決のみならず、地域ぐるみで見守るシステムの構築につながったことから、認知症になっても安心して暮らし、見守りあえる地域に近づいたと言える。また、今後事例を重ねることでその体制を強化していくとともに、介護事業所や医療機関のみならず、自治会や見守り応援団など生活に密着した機関との連携をもつ必要がある。</p>	
<p>・ 高齢者が、社会資源を活用することにより、生活しやすくなる。</p>	<p>③地域ケア会議                      実施時期 未定                      場所 未定                      対象者 集い場の運営者とその参加者、地域支援者                      実施方法 前年度地域ケア会議より、つどい場同士の交流会がそれぞれの会の活性化や意欲向上につながることが分かったため、圏域内のインフォーマルなつどい場の運営者にも集まってもらい、運営状況や今後の展望、地域への思いなどの意見交換を行い、それぞれの課題や工夫点を集約していく。また、どのような仕組みや支援があれば会の運営が可能か活発化されるのか検討していく。今後つどい場同士の意見交換会の場が展開されるよう働きかける。</p>	<p>②地域ケア会議（平野つどい場サミット）                      令和2年10月29日（木）14：00～15：30                      平野会館3階                      参加者：医療機関、自治会、介護事業所、区役所、区社会福祉協議会                      現在、地域の“つどい場”の代表者の顔写真や会の雰囲気などの写真を事前にとり、会の特徴やPRなどのインタビューを収集したマップを配布し、コロナ禍における高齢者の変化を確認したうえでつどい場の開催状況や行っている工夫を共有し、意見交換会を実施した。また会場探しに困っている、新たな参加者がいないなど課題も共有し、今後継続的に互いに活性化を図れるよう話し合いを継続する必要があると確認した。</p>	<p>②地域ケア会議（平野つどい場サミット）                      現在のつどい場の現状についての意見交換の中で、圏域内に集まりやすい会場がなく困っている、運営できるスタッフの高齢化により、若い担い手が見つからない、運営資金がないなどコロナに関わらず各つどい場が抱える課題は共通していた。また、コロナ禍における工夫として配食形式に変更したり、ラインで情報交換、手紙のポストティングや電話で安否確認するなど、参考となる情報を共有できたことで高め合えた。今後、つどい場マップをリーダーにより、随時情報更新してもらうことやつどい場同士の交流会をすることで高め合えることができるため、交流会として継続的に実施していく。</p>	

様式 3 計画評価シート（目標・実施・評価）

（ 3 ）年目における長期目標の達成状況

認知症高齢者等声かけ模擬訓練や若い世代を巻き込んで認知症について検討する場を設ける予定だったがコロナの感染拡大により計画を遂行することが出来なくなったため、達成できていない。来年度以降に再度検討して開催していく。

あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（ みなとがわ ）あんしんすこやかセンター

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が高く、担い手不足が浮き彫りになり、地域住民主体によるさらなる見守り強化体制の構築や新たな資源の開発には限界がある</li> <li>・高齢化率が高く、担い手不足にともない、地域としての互助力が低下しているため、高齢者の生活が困難になりつつある</li> </ul>

【長期目標】 1 地域住民、医療・介護専門職が地域の特徴を知り、地域の高齢者の見守り体制の強化について一緒に考える事が出来る。

2 高齢者が自分らしく生きていくことの意識を高める

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>&lt;目標 1&gt;                      コロナ禍の中、参加高齢者が認知症高齢者の見守り・声かけへの理解を深め、住民間で見守り・声かけの必要性を発信、伝達することが出来る。</p>	<p>①                      認知症声かけ訓練を開催                      対象：菊水エリアの住民 15 名程度。                      内容：センター職員がロールプレイを行い認知症高齢者への声かけの実際について考えてもらう。</p> <p>→10/4(日)9:30～10:30                      菊水ふれまち協議会・石井西民生委員（参加者 15 名）</p> <p>&lt;ロールプレイの場面&gt;                      ・ごみの日を間違っ出て出す                      ・鍵を失くして玄関先でもたついている                      ・給食会の日を忘れてる                      ・道に迷っている</p> <p>&lt;コロナ禍の工夫&gt;                      参加人数に限られるため、声かけのパンフレットを配布し、学んだ事を他の住民に伝達してもらう。</p>	<p>・ロールプレイに参加して頂く方には事前に声をかけていなかったにもかかわらず、快く受けて頂いた。またアドリブでのロールプレイであったがどの方も自然な声かけで日頃の対応の様子を垣間見る事ができた。またアドリブが多い中でも演者が参加者のペースに載せられてしまうケースもあり、ロールプレイを見ている方も参加者も楽しみながら声かけのポイントを振り返る事が出来た。</p> <p>・そして感想等の場面では日頃の声かけの様子や気にかけている高齢者についての報告もあり、自然な声かけが町のいたるところで行われている状況を確認し合えた。</p>	<p>・身近な事例を用いたロールプレイ（住民参加型）を取り入れたことで身近な課題として捉えて頂けることができた。</p> <p>・地域の方の日頃の関わり方や住民同士の繋がりが・コミュニケーション能力の高さを理解できた。</p> <p>&lt;今後の予定&gt;                      認知症高齢者の関わり方への関心の高さを知る事ができたため、次年度は認知症声かけ訓練を媒体にしつつ、認知症高齢者の理解をさらに深めてもらいつつ、地域と一緒に支えていただける支援者を新たに発掘していきたい。</p> <p>湊山小学校跡地を拠点に定期的な認知症高齢者声かけ訓練の実施を予定。</p>	
<p>&lt;目標 1&gt;</p>	<p>②                      個別ケア会議（11 月）                      対象：認知症高齢者を支援している支援関係者                      内容：住民、医療・福祉専門職が支えながら在宅生活を継続している認知症高齢者のケースを振り返り、地域で認知症高齢者を支えることについて検討する</p> <p>→11/30（月）14:00～15:20                      参加者：当事者、知人、カラオケ教室の</p>	<p>当事者本人の想いをはじめ、支援者それぞれの気持ちや思いを共有することが出来、今後も本人を支え合うことを確認し合う事が出来た。</p> <p>また参加者は本人を取り巻く支援者のネットワークを知ってもらい繋がりの大切さに気付いてもらえた。</p> <p>このケースにとどまらずもっと地域でどんどん繋がっていく事が大切であることに気付いてもらえた。</p> <p>今回の話し合いからも何気ない声掛けや気</p>	<p>I 氏のような支援の輪をあちこちで広げていければと考える。菊水地域の方々とこの地域の方を支援している専門職で認知症の方が住み続けることができるまちづくりについて地域ケア会議を開催する予定。</p>	

	<p>先生、自治会長、民生委員、弁護士（担当補佐人）、宅配弁当事業所、通院先 MSW、薬剤師、担当 CM、ヘルパー、センター職員 14 名 センターの関わり始めから現在に至るまでを振り返り意見交換した。</p>	<p>遣いが認知症の方の大きな支えになることを再認識することが出来た。</p>		
<p>&lt;目標 1 &gt;</p>	<p>③ 地域ケア会議（2月） 対象：認知症高齢者の住んでいる菊水エリアの住民・医療、福祉専門職。 内容：上記を踏まえ、今後コロナ禍において、認知症高齢者をどのように支援するのか検討する</p>	<p>コロナ感染予防のため開催できず。</p>	<p>&lt;今後の予定&gt; 地域ケア会議を次年度に開催し、医療・福祉専門職も含めた認知症高齢者の支援について検討し、さらに掘り下げる事が出来ればと考える。</p>	

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>&lt;目標 2 &gt; 高齢者がつどいの場に参加し、コロナ禍の中における自分らしい生活について考え、取り組む事が出来る。  &lt;つどいの場&gt; 生き生きサロン 【毎月第3金曜日】</p>	<p><u>担い手に向けて</u> ① 毎月センター職員2名が参加し、住民が主体となっているつどいの場の後方支援を行い、立ち上げ・確立に向けて担い手の意識の維持・向上をさせる。  ② 参加高齢者にも折にふれ、担い手の発掘の必要性を理解してもらう。</p>	<p>① について ・教室の設営、受付などは参加者自らで自主的に担う事が出来るようになり、住民主体へと少しずつ移行できている。 ・毎月の参加費 1 人 100 円×参加人数分の管理。集いの場については、会場費、活動時の保険に関して年間事業終了後の後払いであるため、立ち上げの中心メンバーが1年分立て替え払いしないといけないという『金銭的負担がある』という声が上がっている。 ② について ・毎回サロンの開始時に参加者へ集いの場は地域住民が主体となって続けていくものであることやフレイル通所事業へ通っていただき、次の担い手になってもらえるよう発信している</p>	<p>・地域でのつどい場を住民主体で立ち上げる際に、お金の管理に関する負担が大きく、どのように担ってもらうか課題となっている。  &lt;今後の予定&gt; 担い手を中心としながら、参加者も含め全員で生き生きサロンを継続し、担い手が負担になりすぎないような環境を構築していきたい。 また中心メンバーだけが担い手だという認識ではなく、参加者みんなで生き生きサロンを盛り上げていける雰囲気構築していく。</p>	

<p>&lt;目標 2&gt;</p>	<p><u>参加者に向けて</u></p> <p>① 参加者が介護予防（フレイル予防）の啓発や情報提供から自分たちの生活について考え、モチベーションが維持できる。 →神戸市の「元気！いきいき！！手帳」を活用する。</p> <p>② 参加高齢者がフレイル予防についての知識を近隣の方や知人に伝達してもらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者は平均 20 名（うち継続参加者は平均 18 名）。</li> <li>・参加者は、手帳に毎回シールを貼る事でモチベーションが維持できている。</li> <li>・新たな参加者を呼ぶなど徐々に口コミで広がっている。</li> <li>・参加者が進んで設営や片付けに参加しており、主体的な意識を持っている方が多い。</li> </ul> <p>・コロナ禍で外出の機会が減り、自身で下肢筋力の低下を実感し、フレイル予防の必要性をお互いに語っている。</p>	<p>・今後も事業を継続していくためには、担い手だけではなく、参加者全員が主体性をもって参加していただくことが大切であるということを実感している。その為に次年度は進行役などを参加者にも担っていただき、主体的に参加していただけるような環境を作っていくたい。</p> <p>&lt;今後の予定&gt; 参加者に向けては今後も事業が定着していくようにモチベーション維持向上に努めていく。</p>	
<p>（ 3 ）年目における長期目標の達成状況</p> <p>地域住民と専門職が高齢者の支援について一緒に考えあえる機会が増えてきている。 また繰り返し高齢者に働きかけをすることで、高齢者自身が主体的に取り組もうとする意識も広がってきている。</p>				

あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（ 荒田 ）あんしんすこやかセンター

<b>課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H31 年度の相談内容として介護相談と介護保険申請手続きの項目が、合わせて 70% を占めている。早めの相談につながるようにセンター周知と出張相談会の調整が必要。</li> <li>・ 民生委員不在地域を中心にお世話役、ボランティアを関係協力機関とともにさがしていくことが必要。</li> </ul>

【長期目標】 地域の高齢者、家族に重度化する前にあんしんすこやかセンターに相談をすることを知ってもらう。

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>&lt;目標 1 &gt; 高齢者自身が相談場所はあんしんすこやかセンターだと認識できる。</p>	<p>① センター周知のチラシを作成し、関係機関に配布し、<u>相談が来るように連携を行う。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター内で計画を立て、効果的なチラシ作成を行う。</li> </ul> <p>&lt;配布先&gt; 医療機関、介護事業所、コンビニ、金融機関、見守り応援団、まちづくり協議会、スーパーや駅、喫茶店など &lt;工夫している点&gt; チラシにはわかりやすい相談例として、新聞や郵便物がたまっている、認知症状の具体例について記載。ボランティア募集のチラシには荒田圏域で開催している集い場の内容について説明している。</p> <p>&lt;下半期予定&gt; ・今年中に配布完了を目指す。 ・今後も継続してチラシに対する反応・効果を検証する必要がある。 ・12 月開催予定の地域ケア会議においても各関係機関の方々のご意見を参考にしながら、地域のニーズに合わせたチラシやツールを作成することが、地域住民のセンター認識を高めることへつながると考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター紹介チラシ、配布先リストの作成を行った（現在配布中）。</li> <li>・配布先からは、「また何かあれば相談します」など好反応であった。</li> <li>・湊川南地区においては、地域の回覧板にて回覧していただくことができ、より多くの地域住民への周知ができた。</li> <li>・一部の医療機関では置いていたチラシ全部を受診した方々が持ち帰った。追加でチラシを持参。受付の方からの話では、センターの役割がわかったという声があったと聞いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したチラシを関係機関に置いたことにより、関係機関から今後の連携につながる話が聞けた。</li> <li>・薬局からは今後地域ケア会議に参加をしたいという声があった。</li> <li>・第 2 回目の地域ケア会議の準備段階として、事前にアンケートを行ったところ、「センターに関するチラシがあればよい」「介護保険サービスの利用料金について記入しているチラシがほしい」という意見があった。</li> <li>・センターとしてアンケートの意見を参考にして、センターのチラシはテーマを決めてシリーズ化していく。</li> </ul>	
<p>&lt;目標 1 &gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関、介護事業所、コンビニ、金融機関、見守り応援団、まちづくり協議会へ配布できるように地域ケア会議の調整を行う。</li> </ul> <p>→12 月頃開催予定。 センター周知も含め関係機関との連携の強化を目的とし計画。</p>	<p>会議の参加者は 14 名。グループワークを行った。センターとの関わりがない方にとってはセンター周知に関するチラシがあれば便利であるという意見が出た。また、現在配布している A4 チラシよりもサイズの小さい A5 や 3 つ折りができるリーフレット状のものであれば配布、保管しやすいという感想もあった。QR コードを掲載すると子供世代にも周知ができるという意見があった。センター活動内容がわかりにくいという意見があったので、チラシ等を用いることでセンター周知の効果があるのではという声があった。</p>	<p>参加者からは「センターの業務や活動内容を理解することができた。センターと関係性が希薄な薬局からは、今後積極的に連携をしたい」という意見を参考にし、誰が見てもわかりやすいチラシ内容を検討していく。</p> <p>民生委員からは、地域の行事に参加している顔ぶれが決まっている。参加していない方々へどのように関わっていくかが課題、また、自宅訪問を拒否している方への対応が困っているという意見もでたので、民生委員や友愛訪問向けにセンター</p>	



計画評価シート（目標・実施・評価）

			<p>との意見交換や勉強会の機会をもつことを検討していく。</p> <p>消防署や医療 MSW, 薬局からは課題のある高齢者の担当の CM やあんしんすこやかセンターがすぐにわかるステッカーなどがあれば連携をしやすい。また、消防署からはマイナンバーカードを作成することによって個人情報についてのデメリットよりもメリットがあることを知ってほしい。MSW からは、男性高齢者が気づくようにチラシの配布場所は銭湯やパチンコ店、ボートレース場などにもセンターチラシを配布してはという意見がでたので、今後はチラシの配布場所の追加を考えていく。ステッカーについては行政と相談をしながら作成することが可能かどうかを検討していく。</p>	
<目標 1 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談内容の集計を行い、前年度と比較する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在上半期のデータを集計中。</li> </ul> <p>相談経路は本人、家族、行政、医療からが主であった。相談内容は介護保険の申請、認知症状、内科疾患、ケアマネジメントについての介護に関するものである。広報チラシからの相談はなかった。前年度とほぼ変わりはない。</p>	<p>本人、家族、医療からの相談が主であったので、今後センター周知活動は上記の他に民生委員、友愛訪問グループへも積極的に行う。高齢者の課題の重度化を防げるように地域の情報や相談が早期にセンターに来るように周知を続ける。</p>	

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>&lt;目標 2 &gt;</p> <p>高齢者同士が意見交換をし、社会資源を活用して、趣味を楽しめる場を作ることができる。</p>	<p>② 民生委員不在地域を中心にお世話役やボランティアをみつけて、見守りや集い場づくりにつながるよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会、まちづくり協議会、地域団体、民生委員との調整や面接を続けて情報を得る。</li> <li>・お世話役がみつかるように地域の集い場づくりについて圏域の関係機関と話し合いの場をもつ。</li> </ul> <p>→コロナの影響から、話し合いの場を設けることが難しいため、今年度はチラシ配布による周知を行う。</p> <p>→社会福祉協議会等の協力を得ながらボランティアに興味を持たれている方々を把握し、関係性構築を目指す。</p> <p>→ちよこっと相談室など、既存の相談場所を活用し、出張介護相談会などの開催を計画。開催に向けては、12月頃開催予定の地域ケア会議の場で病院などの各関係機関と連携しながら進めていく予定。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア募集のチラシ作成を行った。</li> </ul> <p>実施計画①のセンター案内チラシと一緒に現在配布中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の集い場であるきずな会は、もともと茶話会形式であったが、感染症対策を考慮し演奏会へ変更。演奏ボランティアについては区社協と連携し、11/19 開催予定。</li> </ul> <p>11/19 に今年度第 1 回目のきずな会を開催。ボランティアによる琴の演奏と独唱の会を開催できた。11 名の高齢者が参加。これまでの喫茶のきずな会ができなかったのは残念であったが、久しぶりの演奏会を楽しんでいただくことができた。感染症予防対策を十分にしていたが、会が盛り上がるにつれて、ボランティアと参加者との距離が近くなる場面もあっ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集い場については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新たに作ることは難しいのが現状。しかし、既存のきずな会は演奏会へ変更したり、ちよこっと相談会を出張形式へ変更したりするなど、地域の集い場を維持できるよう工夫しながらの取り組みが行えている。</li> <li>・また、今後集い場の再開に向けて、準備を行っておく。（ボランティアや社会資源の発掘など）</li> </ul> <p>感染予防の観点からは集まることは難しいが、センターのちよこっと相談会のツールを利用して、センターへ気軽に相談ができることを周知していく。相談例が記載したセンターチラシを用いて相談会実施の日時などを関係機関へ配布する。</p>	

		<p>た。今後も感染予防に一層注意することが大切であると感じた。</p>		
<p>&lt;目標 2&gt;</p>	<p>・地域ケア会議を開催し、圏域サービス事業所の協力を得て、集い場の立ち上げを目指す。</p>	<p>新型コロナウイルス流行のため、集い場の立ち上げは難しいと判断している。</p>		
<p>（ 3 ）年目における長期目標の達成状況                  地域ケア会議を通して、新たに薬局と連携ができ、センターの役割について知っていただくことができた。センター周知のチラシに相談例を載せて分かりやすくすることで、配布先から「こんな時に相談したらいいということが知れた」と意見をいただいた。                  しかし、認知症や医療未受診で発見が遅れて相談があるケースは少なくない。相談があった時には複合的課題を抱える人がいるため、まずは医療連携を強化していき、定期受診が滞っている人へのアプローチなど、対策を講じていく。</p>				

あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（ 新開地 ）あんしんすこやかセンター

<p><b>課題</b></p> <p>(1) 認知症になっても安心して生活できるよう、認知症や成年後見制度等の広報啓発が必要である。</p> <p>(2) 住民同士の関係が希薄な羽坂通4丁目において、住民同士の「顔の見える関係」が作れるよう働きかけ、見守り体制を構築するため、関係機関が情報共有や連携を深める機会を持つ必要がある。</p> <p>(3) 友愛ボランティアがなくなり、見守り体制が不明でセンター内で把握が進んでいない西柳原町、門口町で、民生委員や関係機関と情報共有の機会を作り、地域の高齢者や見守り体制について把握する。</p> <p>(4) コロナ禍において、参加できる居場所が減り、高齢者の交流の持ち方について、地域住民と共有・検討する必要がある。(10月追加)</p>
---

【長期目標】高齢者が、認知症や介護が必要になっても安心して生活ができる地域を目指す。

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>【目標1】</p> <p>認知症の理解が深まり、高齢者が認知症になっても、本人も関係者も早期に相談しやすいネットワーク作りを目指す。</p>	<p>①地域住民が認知症に関わった事例が多い三川口町を中心に、認知症高齢者声かけ訓練等を活用し、認知症や対応方法の啓発を行い、関係機関と連携を深め、早期対応ができる体制を構築する。</p> <p>■認知症声かけ訓練 （コロナの影響で9月→11月に変更） 時 期：令和2年11月25日 参加者：兵庫北民児協、老人会、自治会、友愛ボランティア 内 容：認知症の対応方法</p>	<p>①参加者17名（センター職員含む）</p> <p>(1) 講義 「分かり易い内容でよかった。」「よい話が聞けてよかった。」等好評だった。</p> <p>(2) 事例を活用した認知症の対応方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者全員が、認知症の方へ何らかの対応をしており、本人や家族への声かけや受診方法に悩んでいることが分かった。</li> <li>参加者が、認知症の受診拒否など心当たりのある事例を挙げ、医師より具体的な方法を聴くことができた。</li> <li>民生委員やふれまち協、老人会、夫々が認知症や意欲低下のある人への見守りをしており、工夫していることが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響で、限定した地域のコアな支援者の参加であったが、少人数で対応方法等を質疑応答することで、より具体的な対応方法を共有でき、早期対応ができる体制の一步になった。</li> <li>しかし、コロナの影響もあり、本来は、参加予定であった友愛ボランティアや老人会等が参加できなかったため、今後も、小地区や多世代、一般住民等に、より効果的な認知症への対応方法等の啓発や情報交換の機会を持ち、早期対応できる体制を作る必要がある。</li> </ul>	
	<p>②認知症や成年後見制度について、新開地地区関係機関で効果的な啓発や相談体制について検討する。</p> <p>■圏域全体の地域ケア会議 （コロナの影響で11月→1月に変更） 時 期：令和3年1月下旬 参加者：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、警察、消防、民児協、老人会、自治会、ふれまち協、サービス事業者、医療介護サポートセンター、区社協、区あんしんすこやか係 内 容：・認知症になっても、安心して生活できるよう広報啓発や相談体制を検討する。 ・「こんなことできるよリスト」の活用</p>	<p>②今年度は、コロナの影響で圏域全体の地域ケア会議は開催なし。</p>	<p>②小地域での地域ケア会議に取り組みながら、来年度、小地区での取り組みの報告や新開地地区全域での課題等を検討する機会を持つ。</p>	

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>【目標 2】 羽坂通 4 丁目の高齢者が困った時にすぐに相談できるネットワーク体制がある。</p>	<p>① 地域ケア会議開催 時 期：令和 2 年 7 月 21 日 参加者：医師・歯科医師・薬剤師、民生委員、兵庫すまいセンター、ケアマネジャー、サービス事業者、警察、消防、区社協、区 内 容： ・多職種で高齢者が困った時にすぐに相談できるネットワーク体制づくりについて ・すぐに救急や警察、関係機関を呼ぶ典型事例を基に検討する。</p>	<p>・参加者：16 名（センター職員含む） ・本人や家族へ連絡先をセンターに伝える了承を得るなど具体的なつなぎ方について共有した。 ・センターのチラシを医師や UR に配布し、必要な方にセンターを紹介してもらうことになった。 ・住民間同士の関係性が希薄であり、住民の方の認知症への理解が乏しいという意見が出た。 ・医師より、妄想や救急要請・警察通報が多い方について、淋しさや不安が大きな要因であり、繋がりや交流できる場が必要という意見が出た。 ・8/18 の「フレイル予防支援事業」の開催に伴い、医師や UR、民生委員の方へ参加者への声かけの協力を得ることができた。</p>	<p>・典型事例を活用することで、それぞれの役割や高齢者の見守りに対する現状を具体的に共有でき、支援者同士の顔の見える関係作りが進んだ。 ・また、緊急時の対応やセンターへのつなぎ方等具体的な連携方法について話し合えた。 ・今後、認知症高齢者を支えるため、また支援者の疲弊も予防するため、関係機関や住民に対して認知症の対応方法等の啓発を行う必要がある。 ・安心シートの活用についても、今後圏域内のケアマネジャーや事業所連絡等で更なる活用を呼びかけていく。 ・見守り体制等の支援者になる人材を発掘していく。</p>	
	<p>② 8/18 フレイル予防支援事業 ・開催チラシと共にセンターチラシを作成する。 ・羽坂通 4 丁目の UR 住宅に全戸配布し、センターの啓発も行う。 ・住民間・関係機関の顔の見える関係作りを行う。 ＜下半期の予定＞ 今年度中に羽坂通 4 丁目です更に 1 回高齢者の交流の機会やセンターの広報啓発の機会を持ち、より住民同士の顔の見える関係作りや相談できる体制作りを進めていく。</p>	<p>・参加者：15 名 ・UR 住宅でのチラシを見て参加した人もいた。 【顔の見える関係作りについて参加者の様子】 ・普段は、顔を見たことがある程度の人同士が、談笑しながら帰っていった。 ・初対面の参加者が、ワークを通して会話をしたり、一緒に残って話すなど交流が進んでいた。</p>	<p>・センターなど相談窓口の啓発やフレイル介護予防支援事業を通して、参加者同士顔の見える関係が作れた。</p>	
<p>【目標 3】 西柳原町、門口町において、高齢者が安心していきいきと社会参加ができ、見守りが受けられる地域に住む。</p>	<p>（3）西柳原町、門口町の取り組み 民生委員や関係機関と情報共有の機会を作り、地域の高齢者や見守り体制や集い場について把握する。 ■地域ケア会議 時 期：令和 2 年 9 月 参加者：民生委員、老人会、自治会、ケアマネジャー、サービス事業者、区社協、区あんしんすこやか係 内 容：高齢者見守りの現状について共有</p>	<p>（3）西柳原・門口町の民生委員に、地域の見守り体制や集い場について情報共有の機会を持つ提案をしたが、民生委員より、新型コロナウイルス感染リスクが高いことや高齢者の共有できる情報が少ないという理由で、開催に消極的な意見があり、今年度は、地域ケア会議の開催は見送った。</p>	<p>（3）西柳原町、門口町の課題として、単身者用の住宅が増え、センター、地域関係団体とも、高齢者の情報の把握が困難で見守り体制が整っていない。今後も見守り体制構築に向け、情報共有できる機会を持てるようアプローチが必要である。</p>	

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>【目標 4】（10 月追加） コロナ禍においても、高齢者が他者とのつながりを保って、困った時に相談できる体制がある。</p>	<p>コロナ禍における高齢者の交流の持ち方について、情報共有や今後の展望について共有する。</p> <p>■地域ケア会議 時 期：令和 2 年 10 月 14 日 参加者：兵庫北民生委員長、三川口町自治会町・老人会副会長、ボランティア代表 内 容：コロナ禍における地域の交流の機会の持ち方について、地域の支援者やボランティアとして感じる現状や課題、今後の展望について共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者：10 名（センター職員含む）</li> <li>・緩和された集い場の感染対策について共有</li> </ul> <p>①それぞれの関係機関のコロナ禍における取り組みについて共有する。 （支援者の声）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会給食会：感染対策で弁当は持ち帰りで、イベント中心。今月から開催予定。</li> <li>・喫茶 A：感染防止のため、休止の意見が多く、支援者が参加者宅を訪問している。関わる支援者が疲弊している。</li> <li>・認知症カフェ：開催を予定していたが施設が使用できず中断している。</li> <li>・喫茶 B：終了。新たな居場所の立ち上げを希望。</li> </ul> <p>②今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日開所している居場所作りを検討し、場所を探していると意見が出た。</li> <li>・場所や人材、資金等、それぞれの参加関係団体の強みを活かしてコラボレーションし、新たな居場所を作っていきたいという意見がでた。</li> <li>・具体的な場所の確保を検討し、確認していくことになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民児協、老人会、喫茶の現状や今後の展望について確認できた。</li> <li>・参加団体から、自主的に、一団体だけでは、立ち上げが困難だが、今回参加団体が、それぞれ資金、場所、人材等を活用して一緒に立ち上げたいと意見が上がり、具体的に話が進んでいる。</li> <li>・あんしんすこやかセンターの役割として、地域の高齢者の交流の機会について、ニーズや場所、人材等の社会資源の把握とマッチングを行う。 具体的には、民生委員、友愛ボランティア、ふれまち協等にニーズや場所について、アンケートやヒアリングを行っている。</li> <li>・今後も、具体的に喫茶の立ち上げ等で情報交換をして、関係団体同士で協力し合える環境を作っていく。</li> </ul>	
<p>（ 3 ）年目における長期目標の達成状況</p> <p>【3 年目の目標について】</p> <p>（目標 1）コロナの影響で、認知症の啓発の機会が少ない中で、認知症高齢者声かけ訓練で地域のキーパーソンと認知症の対応について、情報共有することで相談しやすいネットワーク作りが進んだ。しかし、更に多くの世代や住民に効果的な啓発の機会を検討する必要がある。</p> <p>（目標 2）羽坂通 4 丁目の高齢者が相談できるネットワーク作りについては、地域ケア会議で典型事例を活用したことで、各機関の役割を共有でき、具体的な連携方法について話し合えた。各機関と協働して介護予防普及啓発の機会を 2 回持ち、参加者同士が顔の見える関係作りが進んだ。また、新規の 60 代の参加があり、今後も地域活動の協力に向けてアプローチを継続していく。</p> <p>（目標 3）西柳原、門口町では、コロナの影響で地域ケア会議が開催できなかった。しかし、今年度、当地域で認知症や困難事例の相談が増えており、次年度は地域ケア会議を開催し、社会参加や見守り体制を構築する必要がある。</p> <p>（目標 4）コロナ禍における交流の場や見守り体制について、地域ケア会議の開催や支援者へのアンケートを通じ、地域の交流の機会や支援者の現状・思いについては確認できた。交流の場の必要性や希望する声は多いが、コロナ禍の影響で従来の方法では困難なため、新たなつながりの方法を検討していく必要がある。</p> <p>【長期目標の評価】</p> <p>・長期目標「認知症や介護が必要になっても安心して生活できる地域を目指す。」については、地域差はあるが、3 年前から小地域で地域ケア会議や交流の取り組みを始めた。2 年間取り組みを続けた羽坂通 4 丁目については、関係機関で、比較的早期から相談できる体制作りが進んでいる。今後、他の小地域でも地域ケア会議や地域の特性に応じた取り組みを行っていく。</p>				

あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（夢野の丘）あんしんすこやかセンター

<b>課題</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症になっても継続して地域での生活が行えるよう、地域の方々が認知症に関する知識を持つことが必要。</li> <li>・認知症の方への対応方法・声かけの方法を具体的な実践を通じて学ぶ機会が必要。</li> <li>・地域支援者と介護サービス事業所の協力体制が構築されていないため、連携に向けお互いのニーズや出来ることを話し合っていく。</li> </ul>

【長期目標】認知症になっても地域で見守りを受けながら生活することができる。

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>目標①</p> <p>・高齢者が認知症になっても、地域で症状に応じた適切な見守りを受けることができる。</p>	<p>① <u>認知症の対応方法について具体的に学んでいただく機会を作る。</u></p> <p>R2 年度は認知症高齢者等見守り訓練を行い認知症の方への対応方法を実践を通して学んでいく。</p> <p>★認知症高齢者見守り声かけ訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期：10月16日</li> <li>・場所：夢野北地域</li> <li>・対象者：地域住民、高齢者みまもり応援団、圏域内サービス事業所等</li> </ul>	<p>①地域住民（民生委員）と見守り訓練についての話し合いを重ね、参加者でロールプレイングの台本を作り、参加者同士でロールプレイングを行っていただくことを決めた。ロールプレイングの内容を、アドバイザーとして参加を依頼していた百年記念の相談員と医師に確認してもらい、認知症の症状設定をしてもらった。しかしコロナウイルス感染症の影響で住民から延期を希望する声が上がって開催を見送ることとなった。</p>	<p>①参加者にロールプレイングの内容を考えてもらい、全員にロールプレイングの役割を振りわけることで認知症への理解、対応について地域住民に、自ら考えていただくきっかけとなった。また、ロールプレイングの内容が、認知症の方の言う事を否定しない等、認知症の方への望ましい対応方法となっており、R2.1月に見守り訓練に向けた勉強会として開催した認知症講習会が一定の効果を現わしている。</p>	
<p>目標②</p> <p>・高齢者が見守りしてもらえたり人や場所、資源が増える。</p>	<p>② <u>新たな集いの場・社会資源の利用について検討する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30 年度熊野地域ケア会議、H31 年度介護サービス事業所連絡会開催</li> <li>・介護サービス事業所と地域支援者の交流について双方が前向きに考えておられる。介護サービス事業所に地域を知ってもらうことから検討していく。</li> </ul> <p>★介護サービス事業所の給食会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食会が再会され次第給食会見学</li> <li>・給食会での介護予防啓発等の依頼</li> </ul> <p>★認知症高齢者見守り声かけ訓練への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期 5月20日</li> </ul> <p>★地域ケア会議（夢野北地域と圏域内介護サービス事業所でお互いのニーズや出来ることを話し合う）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期 10月</li> <li>・場所 熊野地域福祉センター</li> <li>・対象者、地域住民（民生委員、ふれまち、自治会）、圏域内サービス事業所、医師、歯科医師、薬剤師</li> </ul> <p>★個別地域ケア会議</p> <p>ニーズがマッチした地域の方と事業所で個別のケア会議を行う。</p>	<p>②★介護サービス事業所の給食会参加。介護事業所に地域を知ってもらうきっかけに給食会参加を依頼した。地域の事業所に給食会（給食なし）にて介護予防啓発等を実施してもらった。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症に対する注意点等の話</li> <li>簡単な体操による介護予防啓発</li> <li>ブラックライトを使用したの正しい方法の啓発</li> <li>・介護予防啓発（体操など）</li> </ul> <p>熊野給食会 10/9、11/13、12/11（井上病院） 1/8、2/12、3/12、（E デイ）</p> <p>ひよどり給食会 10/23AM E デイ PM えいと 11/27AM 親愛 PM 親愛 12/23AM E デイ</p> <p>1/22AM, PM 2/26AM, PM、3/26AM, PM 井上病院</p>	<p>②★介護サービス事業所の給食会参加について当初の計画では3月～5月位に事業所に給食会の見学等行ってもらう予定であった。しかしコロナウイルス感染症の影響で事前に給食会の見学ができなかったため事業所に給食会や地域の雰囲気伝わりにくかった。しかし、できるだけ事前に打ち合わせをして事業所に給食会や地域の雰囲気を伝えることを心掛け、10月9日の給食会は和やかに進めることができた。事業所と地域住民、地域支援者が交流することでお互いを知ってもらうきっかけとなった。</p> <p>その後も、毎月デイサービスや病院の支援で給食会を開催し、参加の地域住民に介護予防の啓発を行うことができた。地域支援者からは、コロナ禍で地域住民を見守る場、触れ合う機会を作ることができて助かった、有意義だったとの意見を頂く。事業所の方からも地域を知るきっかけとなったとの声をいただく。地域と事業所でお互いのニーズや出来ることを話し合うため、年度初めから計画していた地域ケア会議を1月15日に開催する予定にしていたが緊急事態宣言が発令され R3.4 に延期となった。しかし一連の給食会での交流で地域と事業所が顔見知りの関係になることができて、今後の連携への足掛かりを作ることができた。</p>	

		<p>★個別地域ケア会議 8/22 ひよどり地域（里山） 一人暮らしで認知症が出現し今まで地域に頼って生活していたが地域の手になんて負えなくなった時点で相談があったケースについて個別地域ケア会議を行った。 参加者 民生委員・自治会長 地域支援者 本人・家族・ケアマネジャー</p> <p>★地域ケア会議（夢野北地域と圏域内介護保険サービス事業所でお互いのニーズやできることを話し合う）についてはR3. 1. 15 日に開催予定であったが緊急事態宣言が発令されたため延期。</p>	<p>★個別地域ケア会議について 認知症になってもできるだけ自宅で過ごしたいと思っておられる方について、本人と家族に自宅で継続して生活するという選択肢を示すことができた。また認知症の方でもいろいろな支援を受け地域で生活できることを支援者に知ってもらった。 また手に負えなくなった段階で相談があった。今後支援が手遅れにならない様、早期に相談してもらうために、センターからどのような発信をすればよいかを考えなければならない地域であることがわかった。</p>	
--	--	---	--	--

(3) 年目における長期目標の達成状況

- ・夢野北地域での認知症講習会開催により、地域支援者の認知症への理解を深め、認知症の方を地域で見守っていくという土壌を作ることができた。声掛け訓練の準備においても地域支援者が自らロールプレイを作成され、その内容が認知症の方への望ましい見守り方法や対応方法の理解に基づくものとなっていた。もっと認知症の方への対応方法について学び見守りに役立てたいとの声もあがっていた。
- ・圏域内の複数の介護事業所に、継続的にひよどり給食会と熊野給食会に参加していただき、介護予防啓発をして頂く中で地域支援者、地域住民との交流を促した。介護事業所からは高齢者を支える地域の仕組みを知ることができた等の意見があり、地域支援者の役割の理解が進んでいる。R3 年度も継続して複数の事業所に給食会に参加してもらう事が決まっております、地域の高齢者を見守る社会資源としての役割を担ってもらうきっかけを作ることができた。



あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（ 中道 ）あんしんすこやかセンター

<p><b>課題</b></p> <p>(1) 湊西中地区は中道圏域では最も高齢者数が多く、相談件数も増えてきている。                  (2) 認知症で徘徊や困難事例の対応について、地域で出来る事や連携を考える。（ネットワークの構築）</p>
--

目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p><b>【長期目標】</b>                      高齢で認知症になっても独り暮らしを続けていけるようなサポート体制を作る。</p> <p><b>【短期目標】</b></p> <p>&lt;目標1&gt;                      地域住民が認知症についての対応方法を学ぶ事が出来る。</p> <p>&lt;目標2&gt;                      地域格差なく、高齢者が生き生きと過ごす事が出来る様に集まれる機会を持つ。</p> <p>&lt;目標3&gt;                      処遇困難なケースに取り組む地域包括ケア体制作りをする。</p>	<p>&lt;目標1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサポート研修                              実施地区：湊西中地区                              実施時期：令和2年7月頃の予定</li> </ul> <p>事業所及び各関係機関に声をかける。                      ※令和2年3月に予定していたが、「コロナウイルス」の影響で中止となる。</p> <p>&lt;目標2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市支援事業「フレイル予防」にて住民との触れ合いを持つ。                              実施地区：湊西中地区                              実施時期：令和2年9月初旬頃の予定</li> </ul> <p>&lt;目標3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛け模擬訓練                              実施地区：湊西中地区                              実施時期：令和2年10月下旬頃の予定</li> </ul> <p>「徘徊」する高齢者の対応について、簡単な寸劇を通して見守り支援の在り方について学び、支援体制の強化に努める。</p>	<p>&lt;目標1&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサポート研修はコロナ禍で未開催</li> </ul> <p>&lt;目標2&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市支援事業「フレイル予防」にて住民との触れ合いを持つ。                              実施地区：湊西中地区                              実施時期：令和2年9月10日開催                              参加者9名。</li> </ul> <p>&lt;目標3&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛け模擬訓練                              実施地区：湊西中地区                              実施時期：令和2年10月22日開催                              内容：「コロナ禍」でも出来る認知症の方への見守り支援の在り方                              講師：舞子すみれ園 楠本美香先生                              参加者20名。コロナ禍のため、模擬訓練は行わず「声かけ講演会」として、講義形式での開催となった。</li> </ul>	<p>&lt;目標1&gt;</p> <p>ライフサポート研修は未開催となったが、「声かけ講演会」が地域住民にとって認知症を学ぶ良き機会となった。</p> <p>&lt;目標2&gt;</p> <p>講師のルネサンス神戸の石井先生の指導もわかりやすく、プログラムも取り組みやすいものだったこともあり、これなら毎週して欲しいという声も上がるほどだった。                      この参加者の中から、フレイル通所サービスにつながる方が1名、また「リハビリ専門職による同行訪問」を受け、その後、就業しながらも通所サービスを利用するようになった方が1名あり、成果が出ている。</p> <p>&lt;目標3&gt;</p> <p>「声かけ講演会」では、具体的な認知症高齢者への対応方法もレクチャーして下さった。ただ単発イベントのため、良い啓発の機会とはなかったが地域包括ケアシステムの構築促進とまでは至らなかった。</p>	

（ 3 ）年目における長期目標の達成状況  
 長期目標の達成に向けて、地域ケア会議で見守り応援団の参加を促したり、高齢者虐待の対応に関するケアマネ勉強会を開催したりしてきた。その上で、既存の関係団体との連携は徐々に深まってきているものの、地域包括ケアシステムの構築に向けたサポート体制は十分に形づくることができずに終わった。特に3年目に関しては新型コロナウイルスの課題も浮上し、その対応にも追われた。今後、with コロナの視点も持ちつつ、高齢者の住みよい地域づくりを目指していきたい。



あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（ キャナルタウン ）あんしんすこやかセンター

課題
<p>1. 特に集合住宅に住む高齢者は、孤立になり、閉じこもりから認知症が発生しやすくなる恐れがある。特に周辺症状の訴えが多くなっている。 2. 服薬ができない高齢者が多い。</p>

【長期目標】認知症になっても一人暮らしの高齢者が安心して暮らしていける体制づくりができる。

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>&lt;目標1&gt; 松原通2.3.4丁目に住む高齢者が、認知症に早く気づき、相談できるように実態調査を行う。</p>	<p>1) 目的 特に松原通2.3.4丁目に住む高齢者の実態調査をしながら、センター広報を行い早期の相談が可能となることを目的とする。(早期発見、早期対応を目指す) 当該地域の高齢者見守りリストを作成する。 基礎データは、75歳以上の高齢者を対象に高齢者見守り台帳、相談受付簿(過去2年分)、ハートンあんしん登録者から抽出する。(介護予防サービス利用者は除く) *上記名簿を「名簿等」と記す &lt;作成計画&gt; ①6月、7月 松原通2丁目(対象者34人) ②8月、9月 松原通3丁目(対象者31人) ③10月、11月 松原通4丁目 松原住宅 対象者109人 松原住宅以外 対象者51人 計:225人 ④実態調査のツールとして使用する「センターチラシ」を作成する。 *チラシは、他に圏域内関係機関、事業所、地域との連携に活用する。 ⑤来年度、名簿をもとに二人体制で個別訪問していく。</p>	<p>&lt;進捗状況&gt; ①松原通2丁目 名簿完成。対象者:26人 ②松原通3丁目 名簿完成。対象者:22人 ③松原通4丁目 名簿作成 松原住宅 対象者:36人 松原住宅以外 対象者:20人 ④チラシ原案と色使いについて話し合い修正した。 ⇒完成した</p> <p>&lt;作成したリストからみえた地域特性&gt; ・後期高齢者が8割以上を占めている(80歳以上が半数、女性が6割近くを占めていた。) 見守り対象者がおのずと多くなっているのが分かる。 ・世帯は、独居高齢者、高齢者世帯が多かった。 ・松原住宅では、名簿等から作成した人数が一番多かったが、見守りリストに上げる対象者は1/3程度だった。 ・圏域における困難事例の半数がこの地域から出ている。 ・松原通2.3丁目は戸建て住宅が多く、4丁目は大きな市営住宅が3棟ある。 ・松原住宅を除く松原通4丁目は前期高齢者が多い。そこには149世帯が入居しているワンルームマンションがある。</p>	<p>・①②③④に対して計画通りに進んだ。 ・高齢化が高いにも関わらず、市営松原住宅の対象者数が考えていたより少ないのは、震災後から見守りの拠点としてSCSが配置され、小まめな見守りの積み重ねによって介護保険サービスに繋がった高齢者が多かったからであるとも考えられる。 しかし、令和2年度をもってその見守り拠点も廃止され今後の高齢者の見守りに課題が残る。 ・認知症相談が重度になってから寄せられる一因には、松原通2、3丁目の殆どは戸建てで、古くから顔なじみではあるが、逆に近隣には知られたくないという地域性も考えられる。 ・松原通4丁目以外のワンルームマンションには、前期高齢者が多いが、数年後には、後期高齢者に達するため、介護問題が出てくる可能性がある。 来年度には、今年度作成したこの地域のセンターチラシをツールとして、関係機関と連携を図りながら実態調査を行う。 ・困難事例の半数は、この地域から出ていることを鑑み、引き続きケース検討会、個別地域ケア会議などを通して認知症の早期発見や認知症高齢者との関わり方、地域での見守りがいかに大切であるかを啓発していく。</p>	

様式3 計画評価シート（目標・実施・評価）

<p>&lt;目標1&gt;</p>	<p>・この地域で相談があった「妄想性障害を持つ独居、女性」のケース検討会を実施予定 →令和2年10月12日</p>	<p>令和2年10月12日（月） 「妄想性障害を持つYさんの支援方法について」 出席者：篠原氏（認知症疾患医療センター）CM （モーツアルト兵庫）センター2人・担当地区民生員・訪看（欠席）5人 内容：人が勝手に入ってきて悪さをする。その人はドアの隙間から入ってくる。子供が切られる。家の中に、3人いて家に入れないなど・・・ 結果：見えない物が見えるのは、認知症では「レビー小体認知症」が多いことがある。検査をすることが大切。対応としては信頼関係を構築する、妄想を否定しない、話を肯定する、共感することが大事。薬が効かないことが多い。</p>	<p>明親地区に住んでいる高齢者をはじめ、コロナ禍で家で過ごす高齢者が多く、近隣住民や家族から妄想発言で困っている相談が年々増加している。今後、ますます高齢化率が上り独居高齢者が増えていく中、妄想を訴える高齢者が増加する可能性がある。認知症と同様、支援者や地域住民が、正しい知識をもって見守りや支援していくことが必要である。センターは引き続きこの課題に取り組み、高齢者が安心して生活できることを目指す。</p>	
<p>&lt;目標1&gt;</p>	<p>・名簿作成完成後には、見えてきた地域課題を地域担当民生委員と共有する。 →令和3年1月頃</p>	<p>令和3年1月9日（土） 明親地区民生委員定例会に参加 参加者：民生委員7人・センター職員2人 合計9人 内容 この地区から相談受理するケースが増えている。特に認知症相談が多くなっており、警察からの問い合わせも増加している。来年度に実態調査を兼ねてセンターを周知していくことを説明した。 ・実態調査時、センターで作成したセンターチラシでセンターを周知していく。民生委員から特に質問はなかった。</p>	<p>この地域をセンターが実態調査をしていくことには、民生委員からは質問や意見はなかった。来年度も、民生委員定例会に参加し、実態調査の進め方、目的を説明し、民生委員等、関係機関との連携を図っていく。</p>	
<p>&lt;目標1&gt;</p>	<p>→令和3年1月25日（月）地域ケア会議個別会議予定 内容「架空事例を通して、妄想で苦しんでいる方の世界を知り、その関わり方を学ぶ」</p>	<p>1月25日（月）→、3月23日（火）に延期実施（コロナ感染症のため） 参加者：医師・PSW・薬剤師・CM・自治会・民生委員・友愛ボランティア・サービス事業者・区社協 17名 内容：「架空事例を通して妄想で苦しんでいる方の世界を知りその支援方法を考える」 結果：妄想性障害と認知症との区別は難しいが、基本は一緒である。支援者は、正しい知識を持ち、認知症や妄想が悪化しないように傾聴姿勢で見守り対応することが大切である。今回、自治会長に参加してもらったのは、住宅内で、妄想がある方は、入院か何処かに行って欲しいという言葉が聞かれたので参加を促した。</p>	<p>近隣や家族から妄想障害の相談が多かったため、この地域でこのテーマを検討した。専門医師から認知症と妄想の説明があり、より詳しく理解できた。対応方法も具体的だったので支援の一助になった。 参加者一人一人の意見は聞けなかったが、「よかったです」と感想を述べられた方が多かった。 高齢者の生活歴は個々其々で、様々な妄想パターンがある。今後も、認知症の方が地域で安心して生活していけるように認知症や妄想の事例を通し、民生委員等、各関係機関とのネットワーク構築を図る。</p>	

様式3 計画評価シート（目標・実施・評価）

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>&lt;目標2&gt; 高齢者が抱えるポリファーマシの課題を踏まえ他職種連携で取り組む体制づくりを進める。</p>	<p>① 昨年度実施できなかった地域ケア会議を実施する（兵庫南地区） &lt;計画内容&gt; 多剤併用の現状と課題を医師、薬剤師から受講し多職種が出来るテーマを考える →コロナのため、時期を遅らせ10月14日（水）開催予定。 ①高齢者と多剤併用 ②コロナ禍で過ごす高齢者と介護予防をテーマに話し合う。</p>	<p>令和2年10月14日（水） 内容：「高齢者の多剤併用の課題と共有・コロナ禍で過ごす高齢者の現状と課題について」 参加者：医師・薬剤師・CM・民生委員・区社協・オレンジチーム 合計14人 内容：高齢者の多剤併用と課題について話し合う（コロナ禍のためグループワークは行わず）認知症の方の薬の管理が難しい。特に独居高齢者は服薬できない場合が多い。薬の知識もなく飲み方も理解していない方もある。コロナ禍で民生委員が訪問できなく亡くなっていたり、認知症が進行していた方があったと報告があった。 結果：★ポリファーマシの課題は、高齢者に関わる医療・介護従事者や薬剤師との連携が大切である。サービス担当者会議やカンファレンスの場でも話し合うことが必要である。 ★コロナ禍の中高齢者がフレイルに陥っている可能性が大きいと思われる。</p>	<p>・高齢者のポリファーマシの課題は、特に関係者が集まるサービス担当者会議やカンファレンスの場で解決することが求められる。支援関係者はその課題をよく知っておくことが必要である。課題解決のためには、薬剤師が不可欠である。今後も特に薬剤師と連携を深め、事あるごとに地域に発信していく。 ・民生委員からコロナ禍での見守りの中で、フレイルに陥っている高齢者が多いとの意見があった。いつ収束するのか先が見えない現状において、高齢者のフレイルを予防していくことは、健康寿命の延伸にもつながる。センターが積極的に予防活動をしていく必要がある。</p>	
<p>&lt;目標2&gt;</p>	<p>② 地域のポリファーマシの課題を踏まえ、医師・歯科医師・薬剤師・介護支援専門員等で「高齢者と薬」をテーマに住民に啓発していく機会について話し合う →令和3年3月頃、上記専門職で話し合う予定（新型コロナウイルス感染症を考慮しながら進めていく）</p>	<p>コロナウイルス感染症の収束が難しく、専門職が集まるのが困難だったため実施が難しかった。</p>	<p>専門職が集まり、高齢者のポリファーマシの課題を共有することは、治療効果にも繋がっていくものと思う。新型コロナウイルス感染症のまん延状況を鑑みて検討していきたい。</p>	
<p>（3）年目における長期目標の達成状況 新型コロナウイルス感染症の発生で、計画していた行事がスムーズにできなかったが、逆にセンター内で出来るチラシ作りや名簿作成を通じて地域ごとに特性があることがわかった。来年度は、この地域（明親地区一部）をより深く知っていくために実態調査を行う。令和元年には、明親地区で高齢者声かけ訓練を実施した。民生委員をはじめ、参加者の名演技で、高齢者への声かけがいかに大切かを学び、関係機関とのネットワークの大切さも学んだ。民生委員、住民、関係機関からの相談が、特にこの地域から増えている。認知症による妄想性障害の相談も増加している、地域ケア会議個別会議で認知症と妄想性障害の理解と対応方法について検討した。これらの事案を地域ケア会議で検討することは、認知症の人を理解していくとともに、参加者同士のネットワークの構築にも繋がっていく。継続していく。</p>				

あんしんすこやかセンター地域活動計画 センター名（浜山）あんしんすこやかセンター

<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者を見守る支援者自身が高齢であり「いつまで見守り活動を続けられるのか」という不安を抱えている。一方でこの地域は「将来自分に何かあった時」に対する意識が高い。</li> <li>・高齢の一人暮らしが認知症にかかった時、地域住民だけで支えていくには限界がある。地域の温かい見守りが必要。</li> <li>・集合住宅で数件孤独死が見られた。地域住民だけでなく関係機関を含めた重層的な見守り体制が急務。</li> </ul>
---

【長期目標】「地域支援者が見守り活動を無理なく続けられる」「見守られる高齢者自身も互いの見守りに関心をもってもらう」

短期目標（今年度）	実施計画	実施結果	評価	備考
<p>&lt;目標1&gt; 「百歳体操」に参加することでお互いが見守りあう関係性がつくれる。</p>	<p>●R2.6.17 地域ケア会議の開催 テーマ「つどいの場事業の地域での主導運営に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での安全な運営について</li> <li>・地域住民での主導的な運営について</li> </ul> <p>参加者 つどいの場事業（月火木）各コース代表者、ふれまち、区、社協、あんすこ 全13名</p> <p>●「百歳体操」を各地域で実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所設定  運南西地区 浜山地区まちづくり相談所  運南東地区 今出在家喫茶  デイオフェルティマンション  和田岬地域福祉センター</li> <li>・地域のコアメンバーへの打診根回し</li> <li>・つどいの場支援事業への申請</li> <li>・地域住民への広報</li> <li>・各地域で「百歳体操」スタート</li> <li>・民生委員や友愛ボランティアなど見守り支援者との融合</li> </ul> <p>■何を いつまでに まず運南西地区での開催を目指す！ 4-5月 浜山地区まちづくり相談所で開催できるよう当該委員と話し合う。 つどいの場支援事業申請促し。 5月 地域住民への広報 6月 「百歳体操」スタート 9月 評価～継続 以後適宜、民生委員や友愛ボランティアへ紹介し見守りの場として有効活用してもらおう。 （10月後半 フレイル改善通所サービス実施） 次に運南東地域での開催を目指す！ 4-5月 今出在家、デイオフェルティマンションそれぞれの自治会長へ打診（つどいの場支援事業の紹介）</p>	<p>●R2.6.17 地域ケア会議 参加者から出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での運営について-- 参加者各自が手洗いうがい手指消毒、体温チェックと室内の換気を徹底することで「大丈夫」「やれる」との意見で一致。</li> <li>・地域住民での主導的な運営について-- コロナ感染防止の為にこれまでなかった工程（物品の消毒など）が少し負担に感じるとの意見があがった。また連絡網を作成し、休みの連絡などは自分たちで行うといった前向きな意見も聞かれた。</li> </ul> <p>コロナの影響で開催時期がずれこんだが、「百歳体操」が各地域で実施されつつある。</p> <p>《運南西地区》 7月下旬より開始 場所：浜山地区まちづくり相談所 時間：月・火・木 10：30～12：00 参加：各クラス10名前後</p> <p>《運南東地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今出在家地域： 自治会長らと話し合い今出在家喫茶を活用し、毎月2回程開催する予定が、コロナの影響で開催は未定。</li> <li>・デイオフェルティマンション 自治会が積極的に動いており、マンション住民にアンケートを実施。20名程の高齢者が百歳体操に興味を示し10月25日に第1回目を開催予定。</li> <li>・和田岬地域福祉センター 浜山地区で参加していた数名が近々和田岬地域福祉センターで立ち上げる予定。</li> <li>・本御崎住宅 一人暮らし/老々世帯が多く、双方の見守り場とすべく9月23日地域ケア会議で体操を紹介。</li> </ul>	<p>●R2.6.17 地域ケア会議開催からつどいの場事業の再開に向けて いきいき百歳体操（現つどいの場事業）は、昨年10月からスタートし、コロナの影響で中止となっていたが、参加者から「この体操をしだして身体が軽くなった、ぜひ再開したい」といった声が多く、また「自分たちで連絡網をつくり、それぞれが休みの連絡をとりあっていく」など互いの見守りにも積極的な面が見られたことから、つどいの場事業の再開に向けての後押しとなった。</p> <p>（評価できる点） 《運南西地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜山地区まちづくり相談所を開放してもらい、定期開催することができた。</li> <li>・少しずつ参加者の自主性が芽生えだしている。</li> <li>・参加者が互いに連絡網を使い出欠の確認⇒互いの見守りにつながっている。</li> </ul> <p>《運南東地区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今出在家喫茶 自治会長らの反応は良く、コロナ騒動がおさまればいつでも開始できる体制にある。</li> <li>・デイオフェルティマンション 当センターと自治会との接点が太くなり、「百歳体操」をきっかけに双方の交流が深まった。当該マンションの問題の早期発見につながる。</li> <li>・和田岬地域福祉センター 「この地域で百歳体操を」という発起人が現れ、会場側とのマッチングもうまくいき、近々開催される予定。</li> <li>・本御崎住宅 自治会メンバーが地域住民の見守りを兼ねた「つどいの場事業の立ち上げ」に興味を示している。</li> </ul> <p>（課題事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが終息をみせないことで参加者が増やせられない</li> </ul>	

計画評価シート（目標・実施・評価）

	<p>9月 地域住民への広報 10月 「百歳体操」スタート 12月 評価～継続 以後適宜、民生委員や友愛ボランティアへ紹介し見守りの場として有効活用してもらう。</p>		<p>開催回数の制限（2週間に1回） 「地域の新たな見守り体制」というまでにはまだ相当の時間がかかる。 喫茶と一緒にする今出在家地域では見通しもたっていない ・無理なく継続させるためのボランティア育成</p>	
<p>&lt;目標2&gt; 認知症になっても近隣住民に優しく接してもらうことで、引きこもりにならず、社会性を維持しながら生活を続けることができる。</p>	<p>●運南東地区での認知症高齢者への声かけ訓練を開催する。 ・事前研修で認知症に対する知識が深まる。 ・事前研修後に開催する声かけロールプレイを実際に行うことで認知症の方への正しい接し方ができるようになる。</p> <p>■何を いつまでに 事前研修 9月 運南東地区民生委員会、副会長へ打診 打ち合わせ 神戸百年記念病院精神科医師へ講義依頼 10月 勉強会開催 11月 声かけ訓練実施</p>	<p>認知症高齢者への声掛け訓練を実施すべく、講師依頼や民生委員らとの打ち合わせなど昨年度より準備にかかっていたが、コロナの影響で今年度の開催を見送ることとなった。</p>	<p>（評価できる点） 予定通り開催できていないためなしとする</p> <p>（課題事項） 次年度コロナ感染終息の状況をみながら、無理なく適切に開催できるよう地域支援者と再度話し合っていく。</p>	
<p>&lt;目標3&gt; 独居高齢者でも地域で見守られながら、不安なく過ごすことができる。</p>	<p>●主に集合住宅において孤独死が数件見られた。地域住民からは見守りの困難さが指摘されている。ここに焦点を当て、孤独死をなくすようなシステムづくりを検討する。</p> <p>■何を いつまでに 5月 本御崎住宅自治会長との話し合い 7月 本御崎住宅コアメンバーとの話し合い 9月 地域ケア会議を開催 ケースの振り返り 独居高齢者の現状 孤独死をなくすための見守り 個人情報の取り扱い 等</p> <p>→ 9月23日 本御崎住宅地域ケア会議を開催 会議開催に向けて工夫した点 集合住宅を図面化して、各戸を「いまのところ安全」なのか「不安に思っている」のか支援者の目線で色分けすることにした。</p>	<p>・一人暮らし、老々世帯が多い市営住宅だが、友愛ボランティアらの協力も得て、見守りの必要性の緊急度をすり合わせすることができた。 ・「気になる世帯」や「見守りの必要性の緊急度」をつけることにより、地域住民（友愛ボランティア）が、普段、対象者を見かけたら何気なく声をかけて状態を把握していたり、本人の不安を聞き取っていたり、或いは最近見かける頻度が少なくなった等の近隣者との情報交換から判断していることが分かった。 ・この市営住宅でも百歳体操などをツールとした互いの見守り環境づくりを提案した。</p>	<p>（評価できる点） ・一人暮らしや老々世帯の多い集合住宅で、地域の支援者（友愛ボランティア）らは、自分たちの住んでいる住宅で孤独死がこれから多くでてくるのではないかと、といった不安を募らせていたが、緊急度を色分けしたことで少し安心感をもってもらえた。 ・見守り組織の一つとしてつどいの場事業について説明。高齢者らが率先して自分たちの組織をつくり、見守られる側も自分たちで互いに見守る側に成り得ると紹介。自治会長らは興味を示していた。</p> <p>（課題事項） ・緊急度の高い見守り対象者（気になる世帯）にどのようにアプローチしていくか。 ・自治会には、つどいの場事業の立ち上げに興味はあるものの「どうせここでしても住人の参加は少ない」という消極的な思いがある。</p>	

（ 3 ）年目における長期目標の達成状況  
「地域支援者が見守り活動を無理なく続けられる」「見守られる高齢者自身も互いの見守りに関心をもってもらう」という長期目標達成のために取り組んできた。地域の進行度合いに差はあるが、概ねその方向性は達成されつつある。